
遊戯王GX・栄光と引き換えの転生

パラドックス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遊戯王GX・栄光と引き換える転生

【Zコード】

N4008V

【作者名】
パラドックス

【あらすじ】

飲酒運転から子供を救い死んだ少年・械・シン

彼のことを哀れに思った神様は彼の望む世界に転生させてくれることに

シンが望んだのは遊戯王GXの世界
今彼の愉快な転生が始まる

プロローグ（前書き）

初めてですか？お願いします

プロローグ

主人公・械・シンは飲酒運転から子供を庇い死んだ少年

神様は本来なら遊戯王で世界チャンピオンの栄光を手にする彼を哀れに思いシンの望む世界・遊戯王GXの世界へ転生させる

彼のどたばたな学園生活が今つ始まる

シンク口あり・エクシーズあり・オリカあり・チートドローあり・遊戯王Rのキャラがたまに出てきます
果たしてシンは栄光と引き換えにそれ以上の物を手にすることが出来るのか？

笑いあり・ワンターンキルあり・読む人のアイデアも取り入れます

始まり（前書き）

よろしくお願ひします
今回まへるなしだす

始まり

とある空間

シン

シン

「つるせえな」シン・真つ白な空間にびっくり。（「何がどう」私は
誰？）シン

「君は主の精神世界じゃ」？

「精神世界？」シン

「やつじや主の世界の多次元宇宙論を知つてあるか？」？

「ああ・確か複数の世界に同姓同名で容姿がそっくりな人間がいる
やつ？」シン

「ナニが？」

「察するにあんたは神様か？」シン

「俺は様々なネット小説を読んでな真っ白な空間にほり出される現状でそうゆうのはパターン化されて大抵神様なんだよ？初めてだけど・そもそも転生させてくれるパターン」シン

「それじゃあ手つ取り早い・主にはその権利が・『遊戯王GXの世界で』・はやつ?」

「それとカリト引き継ぎと俺専用オリガもお願ひ」シン
「しょうがないのう」神様

杖をふりGXの世界の扉を開く

「いつてらつしゃい」神様

「あつそうだ」シン

「何じゃ？」 神様

「俺の死んだ理由教えて」シン

「実はな・・・トライックの飲酒運転から子供を救つたのじゃ・・・
本来なら主は遊戯王とゆうカードで世界一になる予定だったのじゃ。
主が勇氣で運命を変え・小さな命を救つた輝かしい栄光と引き換え
に・ゆえに主の望む世界に連れていこうと決意したのじゃ」神様

「わづか・・・わづかの態度はすいませんでした」シン

「こやいこ・ああ行くがよい・かけがえのない夢の世界に」神様

「行くぜ」シンはGXの世界の扉の向こうに入つた

?クロノス（試験用「テッキ」）ワンターンキル（前書き）

シンのGXでの経歴

械・シン

経歴

両親の奨めもありなおかつ精神年齢が大人のため四歳からサイバー流を学ぶ

六歳の時サイバー流マスターする試験の前日・両親が他界転生したとはいえ自分を一番に応援してくれた優しい人だったため精神的ショックでサイバー流のマスターを一時的に辞退する

同じ頃サイザーが入門

サイバー流のマスター試験で見事合格

ペガサスが見学していくペガサスにペガサスミニオンに入らないか？つと誘いを受けサイバー流マスターの資格を放棄するがマスター鮫島はサイバーエンドラゴンをシンに托す

シンはペガサスミニオンに入りシンクロ召喚・エクシーズ召喚の提案などして今にいたる

？クロノス（試験用）テッキ）ワンターンキル

「明日か」シン・ペガサスが用意したホテルの個室

明日はGXの始まりの日である入学試験だ

「そういうや Cainza って来るつかけ？」シン・頑張つて思いだそつと
する

「駄目だ曖昧で思い出せない・」シン

（困ったもんだ・いくらGXはどぎれどぎれしか見てないとはい
なあ？）

「ンン」とホテルの個室のドアを叩く音がする

「どちら様？」シン

「僕だよ・天馬夜行だよ」夜行

「夜行？？？マジで夜行か？」シン・慌ててドアを開ける

そこには遊戯王Rで悪役の夜行がいた

G Xの世界ではペガサスミニオンとゆう立場はかわりないがインダストリアルリュージョン社のイベント企画部の管理責任者だ

「なんの用?」シン・夜行を部屋に入れる

「以前君が提案したシンクロ召喚とエクシーズ召喚の案が通りまず実験としてデュエルアカデミアでの決闘でデータを取つて徐々にこの世に出す形を取つたんだ」夜行・

「それめっちゃプレッシャー?・明日の試験に合格しなかつたらどうすんだよ?」シン

「君は筆記が一位でペガサス様の推薦もあるから大丈夫」夜行

(?夜行つてRと違つて結構明るいよな?・まあ初めて俺がペガサスミニオンに入った時に話しかけてくれたのは夜行でイメージと違つてびっくりしたけど)

「あつ肝心な物を渡さなきゃいけないの忘れてた」夜行

仕事用のかばんからデッキケースを三つだす

「それは?」シン

「ペガサス様が実験段階で作つたシンクロ召喚とエクシーズ召喚のカードだよ」夜行・シンにデッキケースを渡す

俺は内容を確認する

一つ目はシンクロンデッキ

これは俺が前世の時に使っていたデッキのパーティが殆どだった

二つ目はエクシーズ

グレンザウルスはともかくホープやリバイスが入っているのには驚いた

しかもデメリット無し

俺が前世の時はエクシーズがまだ出たばかりで使い勝手が悪いイメージしかなくこれ程エクシーズが使い勝手が良いと感じたことはない

三つ目はブリシンクロ

しかもこの世界の純制限・制限に対応するので前世の俺のいた時よりもさらにえげつないことになるのではないか?

ただでさえ「天使の施し」が制限とはいえ墓地肥やしには持つていいだ

「どうあれずサンキュー」シン

「一応聞くけど明日どんなデッキを使うの?」夜行

「サイバー・デッキ」シン

「・・・さつと上級生は驚くねんせ君はカイザーの兄弟子だから

夜行

「そんなんじゃない・・・あいつは俺を立ち直りさせてくれた恩人だから」「シン

「もう夜が遅いね一応M「クロケツツが迎えにくるよ」夜行

「夜行・・・みんなによろしく」「シン

「うん・・・じゃあお休み」夜行・部屋を出る

次の日

「ン」

「M「クロケツツか?」「シン

「シン様・準備は出来ましたでしょ?」「クロケツツ

「ああ」「シン

サイバー流デッキをデッキケースに入れる

「行くぞ」「シン

M「クロケツツが用意した車に乗る

車内

「会場に着きました」「運転手

「ありがとう」シン

「ではシン様」武運を「クロケツツ

「ああ」シン・車を降りる

デュエルアカデミア試験会場

試験会場に入るとタイミングよく

「試験番号1番」一人とも来なさい」アナウンス

「1番? つとゆう?」とは三沢と一緒に「シン

試験決闘場に移動すると三沢とあつた

「君か? 一人目の一位は?」三沢

「ああ・俺の名前は・鎧騎・シン」シン

「俺の名前は三沢大地だよろしく」三沢

「よろしく」シン

試験決闘場

「あなたの相手は私がするノーネ」クロノス

「よろしくお願いします」シン

「では」クロノス

お互い深呼吸をする

「「デュエル決闘」」

「私のターンドロー・私はボーガニアンを召喚しリバースカードをセットマジックカードターンジャンプを発動」クロノス

「何?」シン

（確かにクロノスはアンティークギアデッキのはず・・・試験用デッキか！・それに対してもターンジャンプの効果って確か）

「このカードの効果は三ターンお互いの時が経過することナーネ・そしてボーガニアンの効果自分のスタンバイフェイズごとに600のダメージを『えるノーネ』よつて 3×600 のダメージをあなたに『えるノーネ』クロノス

「うわー！」シン

LP

4000 - 1800 = 2200

「さらに手札を一枚捨て手札よりマジック発動コストダウン・この効果で私のモンスターのレベルが一一下がりますーのそして強欲な壺発動一枚ドローするノーネさらに一重召喚発動ナーネこのカードの効果で通常召喚できるノーネこれによりボーガニアンを生け贋にThe・big SATURNを召喚シマスーノこれでターンエンドナーネ」クロノス

（サターンを倒したらサターンの攻撃力分ダメージがお互い受ける・

そのためにボーガニアンドライブを削ったのか手札にはサイバードラゴン三枚に「デコイチ」一枚・次のターン貫通能力のあるカードをドローされたら負けるこのドローに全てがかかっている（シン）

「ドロー」シン

（強欲な壺がまだ希望がある頼む来てくれパワー・ボンド）

「俺は強欲な壺を発動力カードを一枚ドローする」シン

一枚のドローカードを確認

（融合だめだこれじゃあ・・・・ん？・・・・）

「どうしたノーネ？」クロノス

「勝った俺は手札から融合発動手札のサイバードラゴンを三体融合」

シン
「ま・まさか」クロノス

観戦していた生徒が騒ぐ

（嘘だろ・あればカイザーの物のはず）万場目

（お兄さんの他に使いこなす人がいるの？）翔

「融合召喚・いでよ・サイバー・エンド・ドラゴン」シン

「ナンデスピー」クロノス

「行けサイバー・エンド・ドラゴン・エターナル・エボリューション・バースト」シン

サイバー・エンド・ドラゴンがサターンを破壊

「この瞬間サターンの効果発動互いにサターンの攻撃力分のダメージを受ける」クロノス

「勝ったと言つたはずですよ先生・速攻魔法発動・痛恨の呪術・このカードの効果で俺が受ける効果ダメージは相手が代わりに受ける」シン

「マンマニーヤ」クロノス

4000 - 6800 - 2800

勝者シン

シンはデュエル終了後周りを見てカイザーを探す
カイザーを見つけるとフツと笑っていた

（それから俺は十代の決闘を見てクロケツツが用意した車でペガサ
スの別荘に帰つていつた）

?クロノス（試験用）テッキ）ワンターンキル（後書き）

いかがだったでしょうか？

激闘？？万場目・シンクロはチートです（前書き）

今回シンが使のは全盛期トリシードラテックです

激闘？？万場目・シンクロはチートです

アカデミア行きの船の中

俺は三沢と話していた

「やはりハイドロゲロンのために攻撃力変動力カードを入れるべきか？」三沢

（俺が入学試験のデュエルでワンターンキルをやってしまい周りから質問攻めをくらった

めんどくさい・正直に言えば前世では俺は先生に質問しまくったがくだらなことだためめんどくさい顔をした先生が好きではなかつた
だが今なら分かる

自分から見ればくだらない質問に答えることめんどくさい物はない

前世にいる先生すいませんでした

だが三沢みたく純粹に進化を求める奴からの質問は嫌いじゃない

将来の決まってないやつは今からでも強くなるべきだつとゆうのが俺の考え・三沢の熱心な質問に応えよう・彼をエアーマンにさせないために（元）

「やはり攻撃力変動だけじゃなく・エナジー・コントローラーなどはどうだ？」シン

「確かに凡庸性が高いし・上級モンスターが来ても臨機応変に対応できるな」三沢

「まもなく船がアカデミアに着くぞ」監督者

数分後

「デュエルアカデミア

「……」三沢

「空氣ウマツー」シン

三沢転ぶ

「そこなのが？君が驚くところは？」三沢

「まあな・お互に同じ寮だといいな」シン

「ああ」三沢

とりあえず俺達は新入生歓迎の入学式を行つた

相変わらずだがマスター鮫島は変わつてないのでホッとした

予想どおり俺はラーアイエロー制服を受け取り・三沢の近くに行き十

代と出会った

「よお・三沢やはりラーラーイエローか」シン

「あんた誰?」十代

「つてアーキ知らないんスカ?」この前入学試験でワンターンキルを
きめて三沢君と同率一位で入学した械・シンですよ」翔

「マジで?」十代

「自己紹介するのを忘れてた・俺の名前は械・シン」シン

「俺は遊戯十代」十代

「僕は丸藤翔つすよろしくつす」翔

「おい貴様」万丈目

（出た初期差別キャラ万丈目）シン

「何だ?」シン

「俺と決闘しろ許可は下りてるからアーティカル場でな」万丈目

「いいよ・デッキとり行ってくるから待つてろ」シン・ラーラーイエロー

一寮までデッキを取りに行く
引き返す途中翔と十代と三沢と再会した

「やめたほうがいいですよ相手はオベリスクブルーっすよ」翔

「だが受けたからには自信があるんだよな?」十代

「YEDSオフコース」シン

「またサイバードラゴンデッキか?」三沢

「違う・今から使つのは実験段階の『デッキ』」シン

「そんなんで勝てるんスカ?」翔

「大丈夫・えげつない勝ち方で相手を倒すから」シンは再び走り出し携帯をだしてとあるところに連絡した

「何だ?」海馬

「例のカード使いますんでデータお願いします」シン

「了解した」海馬

デュエル場

「よくも来たものだな」万丈目

「あつたりまえ・売つた決闘は買う・それがデュエリストだろ」シン

「減らす口もそこまでにしどけ・万丈目さんは強いんだぜ」取り巻

き1

「あつや・あつやと始めようぜ」シン

「デュエル」

「俺の先行ドロー・俺はヘルソルジャーを召喚カードを一枚セットし天使の施しを発動デッキからカードを三枚引き手札からカードを一枚捨てる・これでターンエンド（伏せカードは奈落の落とし穴とヘルポリマー・これならサイバーエンドドリゴンのワンターンキルでも大丈夫なはずだ）」万丈目

「俺のターン・ドロー」シン

（これは・・・）のターンで勝てとゆうことか）

「怖じけづいたならサレンダーしてもいいんだぞ」万丈目

「勝った・俺は手札から天使の施し三枚引き手札から一枚捨てる・コストで送ったダンデ・ライオン効果発動・一體のトーケンを特殊召喚・さらに手札からチューナーモンスター・デブリドラゴンを召喚・」シン

「「「「「チューナー？」」「」「」」

「デブリドラゴンの効果墓地の攻撃力500以下のモンスターを蘇生する俺はダンデライオンを選択し特殊召喚・さらに大嵐発動お互いの魔法・トラップゾーンに存在するカードを全て破壊する」シン

「クソッ 奈落の落とし穴が」万丈目

「これで・容赦なくいたぶれる・レベル一の綿毛トーケン一體とレベル3ダンデライオンにレベル4のデブリドラゴンをチュー二ングシン

「「「「「チュー二ング？」」「」「」」

「複数の小さき命の願い届く時戦いに終焉を打つため氷結界より現れる・シンクロ召喚・現れる氷結界の龍・トリシェーラ」シン

「何だその召喚方法は?」万丈目

「シンクロ召喚はチューナーモンスターとチューナーモンスター以外のモンスターを墓地に送り融合デッキから特殊召喚される新しい召喚方法だ」シン

「何だと?」万丈目

「その他にも別の召喚方法が存在するが貴様はこのターンで負ける。ダンデライオンが墓地に送られたため効果が発動するが氷結界の龍トリシェーラの効果でチエーンこのカードがシンクロ召喚に成功した時相手の墓地・フィールド・手札から一枚ずつゲームから除外する。俺はお前の墓地から天使の施しで捨てた軍神ガープを・フィールドからはヘルソルジャーを・手札からは右のカードを除外してもらう」シン

「くそ・ゴースが」万丈目

「さらにトリシェーラの効果処理が終わったためダンデライオンの効果で再び綿毛トーケン二体を特殊召喚するさらに手札から一重召喚発動・これによりもう一度通常召喚が許される再びいでよデブリドラゴンが召喚に成功した時墓地から攻撃力500以下のモンスターを特殊召喚・いでのダンデライオン」シン

「またトリシェーラか?」万丈目

「違うな・これはMY Favoriteカードの召喚の布石・レベル3のダンデライオンとレベル1綿毛トーケンにレベル4デブリドラゴンをチューイング・疾風の音が轟く時・救いの風が今姿を現す・

シンク口召喚いでよスターダストドラゴン」シン

スターダストドラゴンは宙を旋回しながら星屑を落としていた

「スゲエ」十代

周りの観戦者はスターダストに見とれていた

「万丈目貴様の負けだ・トリショーラのダイレクトアタック・瞬間
冷凍・ブリザード・フラッシュ」シン

トリショーラのはく息が万丈目の体を覆いダメージを与える

「グワー」万丈目

「とどめだ・スターダストドラゴン・シューティングスター・ソニ
ック・」シン

万丈目

L P

4 0 0 0 - 2 7 0 0 - 2 5 0 0 = - 1 2 0 0

「くそつ・覚えていろ」万丈目取り巻きを連れて逃げる

「すっげーな俺とデュエルしようぜ」十代

「アニキ・もうすぐ寮の新入生歓迎パーティーが始まるつすよ」翔

「それじゃ・また今度」シンは十代と翔と別れ三沢と一緒に寮に行

つ
た

その後万丈目がストレス発散として十代を呼んでアンティードュエルを行つたのは言つまでもない

恋の始まり（前書き）

ビッグアイ登場記念に

恋の始まり

揺れる心？？明日香

「はあつまらん？」シン

初田の授業

一時間目はカードテキストについて答えるところでは原作通りだからつまんなくもない

2時間目は伝説のバトルシティについて

問題はここで発生した

バトルシティ偏のことはよく見ていたからこのあたりに解釈されているのが気になっていた

だがバトルシティの本来の目的や実際に起ったことはすべて隠蔽されてることに驚いた

授業の後海馬に電話したが

「この現代でオカルト紛いのことが信じられるか？」海馬

つと返されたので潔く引き下がるが自分で体験した真実をちゃんとしるしておけと思いつつやはり怒りはおさまらなかつた

千年アイテムに纏わる話であくの人気が死にかけたこと

開催した張本人のくせにそのへんを隠蔽したのが気にくわなかつた

ともあれ俺は怒りを感じていた

疑問に思つたクロノスは聞いても俺が答えないのストレス解消として圧倒的ワンターンキルをデュエルで決めたらどうだと言つた

クロノス

やっぱ優しいんだあんた

ただワンキルはえげつないぞ

ドグマブレーダーやキメラワンキルもあるし

なんやかんやで一日が終わり俺は十代と軽い雑談をしていた

何故か翔がいなかつたが十代に聞くと

「それがわかんねえんだよ。翔の奴、朝っぱらからなんかにやけた表情していてや。」
つと言つていた

そういうや今日つて何かあつたつけ?

そつ思いつつ過ごしていたら

十代の携帯端末がなつていた

見ると

『丸藤翔は預かった。返して欲しければ女子寮まで来い。』

つと書いてあった

不吉な予感がして俺と十代は移動し

そこには天上院明日香とその取り巻きジユンコとももえがいた
とつあえず

あつちにぶがあることだと思い

「どうも・翔が」迷惑をかけてすいませんでした」シン

「やつやつぱり」明日香

「おい・なんで謝るんだシン」十代

「いや・その人が正しいこの変態が手紙で呼び出されたって言つて
んのよ」ジユンコ

「翔・お前に祈りを捧げるアーメン」シン

「ヤメテホー・それ死亡フラグ」翔・泣きじゃくりながら

「…………? ハア大丈夫よ翔君・君にチャンスをあげる
から」明日香

「「へ？」」 翔&十代

「械シンあなたと決闘してもうつわ・」 明日香

（つてそつか今日は女子寮での決闘・なら今回は・・・・・・ん
？）

制服のポケットから

械シン様へ

突然で下さいません？

あなたの世界でヴァリアブルブックが発売になりました

これは初心者天使が付録のナンバーズ11 ナンバーズ16のカードで作ったテックです

これを使い楽しんでください

P・S・

重要な出来事中なら下さいません

神より

（とつあえずこれでやるか）

「準備は出来たよつね」 明日香

「ああ」シン

「「決闘」」

「俺の先行・ドロー俺は手札から終末の騎士を召喚・効果によりデッキから闇属性モンスターを一枚墓地に送る・俺はレベルステイラーを墓地にさらに手札から天使の施しで三枚引いて一枚捨てリバースカードを一枚セットしてターンエンド」シン

「私のターン・手札からマジックカード融合発動・サイバーブレーダーを融合召喚さらに手札からマジックカード発動アームズホール通常召喚の権利を破棄しデッキから装備魔法を手札に加える私は巨大化を手札に加える」明日香

(ワンキルを狙っているな) シン

「私は天使の施しで三枚引いて一枚捨てる・さらに命懸けの駆け引き（オリカ）このカードは自分が相手にバトルフェイズで戦闘・直接攻撃で与えるダメージを宣言し千ポイント支払いカードを一枚ドローするただし宣言したポイント分ダメージを与えない場合相手はカードを三枚ドローする・私が宣言するのは三千」明日香

「ヤバイツスよヤバイツスよ」 翔

「私は武装転生を一枚発動墓地にある巨大化とデーモンの斧をサイバーブレーダーに装備・サイバーブレーダーで攻撃・グリッサード・スラッシュ」 明日香

「トラップ発動・ハーフダメージ」のカードの効果は自分フィールドのモンスター一体の攻撃力を0にするかわり発生する戦闘ダメージを一度だけ半分にする」シン

L P 4 0 0 0 - (5 2 0 0 - 2 6 0 0) = 1 4 0 0

「速効魔法非常食・私は装備魔法一枚をコストにライフポイントを一千回復する」明日香

「それと命懸けの駆け引きに三千のダメージだ」シン

L P 5 0 0 0 - 3 0 0 0 = 2 0 0 0

「カードを一枚セットしてターンエンドよ」明日香

（この手札ヤバいなハリケーンしかまともなカードがない）

「俺のターンドロー俺は強欲な壺を発動デッキからカードを一枚ドローする」シン

（手札にきたのはガガガマジシャンと黙する死者・いくら初心者天使が作ったデッキとしてもこれはひどいこの状況で逆転勝ちするには・・・・・・そうかこうすれば）

「どうした？怖じげづいた？」ジユン口

「フツ勝った・俺はマジックカードハリケーンと黙する死者発動・ハリケーンの効果により互いのリバースカードを手札に戻し黙する死者の効果で天使の施しで墓地に送ったレッドアイズブラックドラゴンを特殊召喚・さらにガガガマジシャンを召喚」シン

「そんな・・」

「でもそんなので明日香さんのサイバーブレーダーは倒せないわよ
ももえ

「べつに倒さなくていいんだ」シン

「え？」明日香

「見せてやるう融合口や儀式召喚を越えた召喚エクシーズ召喚を」シン

「…………エクシーズ召喚？？？？」「…………」

「何なのよそれ？」ジュン口

「今に分かる・俺はガガガマジシャンの効果発動・ガガガマジシャンはレベルを1～8まで宣言したレベルに変更出来る・俺はレベル7を宣言・これで準備はできた・俺はレベル7となつたガガガマジシャンとレベル7のレッドアイズブラックドラゴンをオーバーレイシン

「すつげー何が始まるんだ?ワクワクするぜ」十代

「一体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築エクシーズ召喚・現れよノ。11.ビッグアイ」シン

「それがどうしたの未知なる召喚であるうともサイバーブレーダーは効果で戦闘では破壊されない」明日香

「そりかじやあどうすんだシン」十代

「大丈夫だ問題ない・初めて見せた召喚だからエクシーズモンスター

ーの特徴を教えてやる・エクシーズモンスターは同じレベルのモンスターを使い召喚されるエクシーズモンスターの召喚に使った素材はエクシーズモンスターの下に重なる形で出現し・エクシーズモンスターは召喚に使った素材を墓地に送り効果が発動する・レベルとゆう概念はなく・ランクとして扱われる・さてと説明はこの辺にしてデュエルに幕を下ろすかN.O. 11・ビッグアイの効果発動・シン

「…………何ですって?」 明日香

サイバーブレーダーのコントロール権がシンに

「ビッグアイの効果・それはエクシーズ素材を一枚墓地に送りこのカードの攻撃権利を破棄することで相手モンスターのコントロールを得る」シン

「なんですって」 明日香

「すげえ」十代

「とどめだ・サイバーブレーダーでダイレクトアタックグリッサー・スラッシュ」シン

「なによエクシーズ召喚ってゆうインチキカード使って」 ジュンコ

「????俺を拾ってくれたペガサスを馬鹿にするな」シン

「…………は?」 ももえ

「ちょっと待つてあなたはもしかして」 明日香

「さすが天上院明日香予想通りだ俺はインダストリアルリュージョン社の会長ペガサス」クロフォードが集めた孤児・ペガサスミニオンだ」シン

「「ペガサスミニオンって何?」」翔&十代

「簡単に言えばデュエルモンスターーズの生みの親ペガサスの養子だ
おれは七歳の時からペガサスに尽力した・シンクロ召喚・エクシード召喚はその過程で生まれた・そして海馬コーポレーションの協力のもとこのデュエルアカデミアで実験することになったのがシンク召喚・エクシーズ召喚だ」シン

「そうだったの?」明日香

「ああ・今日は夜が遅いまた後日質問があつたら話そう」シン

「じゃ・帰るぞ翔」十代

十代と翔はレッド寮に向かい船を走らせた

「んじゃ帰るか・」シン

その時俺は明日香が憐れんだ目で俺を見たのを俺は気がついた

なんだこの胸が苦しいが嫌じゃないこの感じは

まさか・・・これが恋なのか?

俺は胸の苦しみのあまり寝れず次の日は授業を大爆睡してしまい説
教をくらってしまった

試験前回・テック強化（前書き）

今回はテックノルなしです

試験前日・デッキ強化

試験の前日

俺は三沢と一緒に極秘ルームに来ていた

理由は簡単

「デッキ強化のためだ

ただエレベーターに乗ろうとしたところ

不幸中の不幸か

明日香はともかく十代と翔に鉢合わせになつた

仕方なく

俺達は極秘ルームとは建前の

インダストリアルリユージョン社の俺の所有カード室に来ていた

「すっげー」十代

「これ・・・・全部シンが所有するカードなのか?」三沢

「ああ」シン

ちなみにイメージしてもらつては王立魔法図書館の狭まつたのをイメージしてください

「スゴイっス」つと翔が誰が見てもまる見えにカードをポケットにいれていた

「クロケツツ！カードが盗まれている・警備員達を呼んでくれ」シン

「ヤメテヨー……」翔

「何人の大切なカードを盗もうとしているの？せつかくだからあげようとしたのを君が俺の宝を盗もうとするなら君はバトルシティのグールズ並のクズだなそれに」シン

「シン・ゴメン」十代

「十代が謝る」とじゃないぞ……仕方がない……君らのデッキに合うカードをあげよう……それと翔「シン

「はい！」翔

「今度から盗むなよ……今度は退学になるからやるから」「シン・握りこぶしを見せながら

「はい？？」翔

とつまあの十代達のデッキはいかのとおり

十代

超融合を除いた属性HEROのデッキ

翔

漫画版のロイドを合わせた火力重機ロイドデッキ

三沢

水属性デッキに恐竜カードを加えたもの

明日香

サイバーエンジニアプラスオリカ

プルルルル・プルルルル・プルルルル

「何だ?」シン

・・・・・・・・・・・・

「十代・用事が出来た・今日はここまでにして寮に戻ってくれ」シン

「マジで用事なら仕方ないな行くぞ翔」十代

「了解ッス・アニキ」翔

「それじゃあまた明日」明日香

「寮に先に戻つてるぞ」三沢

「ああ」シン

数10分後

定期船来航の灯台

「待たせたな・・そして久しぶりだな・・・・カイザー・いや丸
藤亮！」シン

「お久しぶりです」

試験前日・テッキ強化（後書き）

次回予告

明かされるサイバー流伝承の過去

両親が死んでからのシンはまるでクラシックタウン編に出て来た当初の鬼柳のような日をしていた

・ 丸藤亮（当時八歳）は独自のサイバーテッキでシンに立ち向かうが・

サイバー流対末サイバー流（前書き）

遅れていますません？

サイバー流対末サイバー流

「明日・・・クロノス先生に頼んで指名して試験相手になつても
らつてもいいですか?」カイザー

「・・・構わない・それと敬語はやめてくれ・もう俺はお前の兄弟
子じゃない」シン

「分かった・・・それにしても明日・遂に本気のあなたとデュエル
出来るんですね」カイザー

「ああ」シン

(思えば・・・この世界の父さんと母さんが死んだ時に始まった)

「あの時の俺は生氣を持たずただひらすらにデュエルしていた

「サイバードラゴンで直撃」シン

「リミッター解除により攻撃力が一倍になつたサイバードラゴン三
体で攻撃」シン

「ぐわつ」「くそつ」相手

俺は両親が目標だった・開闢・終焉ビートダウンデッキをもつてし
ても勝てなかつたそして俺は強くなり両親と肩を並べるいや越える
ためにサイバー流を伝承することにした

とうとうマスター鮫島に認められサイバーハンブルガーハンを継承したその日

飛行機事故に巻き込まれ両親は死亡「シン

後で神にきいたことだが生活に支障がないよう精神年齢も0からスタートだつたとゆつ

「俺は不満足のなかでお前に会つたんだつけ」シン

「はい・そしてあの『デュエル』が始まつたんです」亮

回想

「よろしくお願ひいたします」亮

「いいから来い!」シン

「『デュエル』」亮&シン

「先行をもらいますドロー・俺は天使の施しで三枚ひいて一枚捨てる・さらにマジックカード苦渋の選択を発動・俺はビッグバイバー三枚と・Xヘッドキヤノン一枚を選択を選択」亮

「俺はXヘッドキヤノンを選択」シン

「Xヘッドキヤノンを手札に加えてそれ以外を墓地に送ります・さらに手札抹殺を発動・お互ひは手札をすべて捨てて・その枚数分カードをドローしますそしてサイバーフューリックスを召喚・カードを三枚伏せターンエンド」亮

「俺のターン・俺は手札からサイバーサポートファクトリーを発動・

このカードは互いに機械族モンスターを任意の枚数除外しその枚数・かける四つのターンカウンターを乗せ・互いのエンドフェイズにターンカウンターを一つ取り除く・ターンカウンターが0になつた時・この効果で除外したモンスターを手札に加える・ただしサイバーと名の付いたモンスターを除外する場合モンスターの数かける一つのターンカウンターを減らすことが出来る・俺はサイバードラゴン三体とプロトサイバードラゴンを除外」シン

「俺もサイバードラゴン三体とプロトサイバードラゴンを除外」亮

「俺はリミッタータイムナンバー4を召喚・このカードが破壊されたときライフを半分にしてターンカウンターを0にするちなみに戦闘で破壊された場合・リミッタータイムナンバー0～3をデッキから召喚する」シン

「だが・・・」のターンでサイバーエンドドラゴンを召喚する方法がある」亮

「そうだ・俺は瞬間爆発発動このカードは自分のモンスター・一体を破壊してあいてモンスター・一体を破壊する俺の場にはリミッタータイムが・お前の場にはサイバーフュニックスがだがこのまでは・お前の場にもサイバードラゴンが召喚されるチエーン発動異次元からの埋葬」シン

「異次元からの埋葬?!!」亮

「このカードの効果で・除外されている三枚のカードを墓地に送る・俺はお前の除外されているサイバードラゴン三枚を墓地にチエーン発動により瞬間爆発は異次元からの埋葬の次に効果が発動するサイ

バーフューリックスとリミッタータイムナンバー4を破壊「シン

「これによりサイバードラゴン三体とプロトサイバードラゴン一体がフィールドに・・・・・だが俺の場にもプロトサイバードラゴンが召喚されるそして俺はリバースカード発動・不意打ちリサイクル・このカードは相手が・攻撃力一千以上のモンスター三体以上特殊召喚したとき・墓地のマジックカードを発動できる・俺は苦渋の選択を発動・・・俺は王室前のガーディアン一枚・三体とプロトサイバードラゴン二体を選択」亮

「俺はプロトサイバードラゴンを選択する・手札に加えたあと・俺は融合を発動・・三体のサイバードラゴンを融合してサイバーエンドドラゴン・バトル・・エターナルエボリューション・バースト」シン

「俺は霧がくれを発動・霧がくれはこのターン俺のダメージを0にする・」亮

「くそつ」シン

（だがなんだこのこみあげる感情は・・・・俺は喜びを感じている？？？？・・・・・）

「サイバーフューリックスが戦闘破壊されたためカードを一枚ドロー・」亮

「一枚伏せてターンエンドだ」シン

「俺のターン・・・俺は手札から強欲なつぼを発動・一枚ドローそして魔法石の採掘で手札一枚と引き換えに墓地から苦渋の選択を手

札に・そして苦渋の選択を発動・俺はサイバー・ラーバア三体とサイバードラゴンツバーア一枚を選択」亮

「なら俺はサイバードラゴンツバーア一枚を選択」シン

「サイバードラゴンツバーア一枚を手札に・・・・フウ・・・・やつと準備が整つた」亮

「何?????」シン

「俺はサイバードラゴンツバーア一枚を召喚して・手札のサイバー・エルタニアの効果発動・このカードは光属性・機械族モンスターをフィールドと墓地からすべて除外しこのカードを特殊召喚する・俺はサイバードラゴン一枚とサイバーラーバア・三枚・サイバードラゴンツバーア一枚・Xヘッドキヤノン一枚・ビッグバイパー三枚・王室前のガーディアン一枚・プロトサイバードラゴン一枚を除外しサイバー・エルタニアを特殊召喚」亮

「トラップ発動・メカ・コーティング・このカードの効果でフィールド上に存在する機械族は戦闘以外でフィールドから離れる事はない」シン

「だがサイバー・エルタニアの攻撃力は除外したモンスターかける五百・除外した枚数は21枚よつて攻撃力は一万五百さらにリミッター解除により攻撃力を一倍にして攻撃・ドラゴニス・エボリューション・シューート」亮

シンルポ

「あ~~~~~何だろ・・・・俺は不満足だ・・・・悔しくて泣きたいぐらい・・・・シン

回想

「その後あなたはサイバー流を体得したあとあなたはインダストリアルイリュージョン社のペガサス会長の養子となつた」亮

「ああ・・・あのあと俺は強くなつたはずだ・・・しかし不満足のままだ・・・だからこそ明日のデュエル・・・リベンジさせてもうう・・・お互いのプライドを賭けて」シン

「ええ」亮

二人の目には炎がたきつていた

サイバー流対末サイバー流（後書き）

もしかしたらライダー小説のために更新が遅れるかも知れません
楽しみにしている方々にお詫びを申し上げます？

プライドを賭けたリベンジ（前書き）

週間アクセス155ありがとうござます

これからも頑張って書きまく

読んでくれている方々本当にありがとうございます??

プライドを賭けたリベンジ

十代は原作通り遅刻・・・クロノスがパックを買い上げ万上目にわ
たしていたがものの見事に十代にワンキルを成功させていた

手順は

大嵐

未来融合

エリクシーラーを選択

融合

ネクロダーグとオーシャンを素材にエスクリダオを召喚

ネクロダーグの効果でエッジマン召喚

エッジマンでVWを破壊

エスクリダオでダイレクト

融合解除

ネクロダーグとオーシャンでどどめ

当然万上田とクロノスは意氣消沈

そしていよいよ俺の番がきた

十代側

「なあカイザーとシンビットが勝つと思ひ?」十代

「さあ?」翔

「今までの傾向だとまつたく同じ戦法のサイバードラゴン+テッキ・・・お互い最終的にたゞつづくのは」明日香

「・・・・サイバーエンドドラゴンか・・・確かに天上目君が言うようにビビからかが・タイミングを計り・グッドタイミングでサイバードラゴンを召喚するかにかかっているな」三沢

「おつ始まるぞ」十代

「では丸藤亮対シンデュエル初め」試験官

「「デュエル」」シン&亮

「先行は貰う俺のターン・俺はモンスターをセット・カードを一枚セットしてターンエンド」シン

「俺のターン・・プロトサイバードラゴンを召喚して手札から融合を発動・手札のサイバードラゴンとフィールドのプロトサイバードラゴンを融合・現れる・サイバーツインドラゴン・サイバーツインドラゴンで攻撃・ツインエボリューションバースト・第一打」
カイザー

「セットモンスターはシャインエンジェル・戦闘で破壊されたため・デッキから光属性モンスターを特殊召喚・いでのプロトサイバードラゴン・さらに地獄の暴走召喚発動このカードの効果は攻撃力千五百以下のモンスターを特殊召喚した時互いはモンスターを選択しどキ・手札・墓地から同名モンスターを特殊召喚する・プロトサイ

バードラゴンは効果でサイバードラゴンとなるためサイバードラゴン三体を特殊召喚する」シン

「く・サイバーツインは融合モンスター・効果の対象外・ならサイバーツインでプロトサイバーを攻撃」カイザー

「甘い・リバースカードドレインシールド発動・攻撃を一回無効にして無効にしたモンスターの攻撃力分ライフを回復する」シン
 $LP 4000 + 2800 = 6800$

「く・カードを一枚伏せてターンエンド」カイザー

「俺のターン・俺は手札から・ハリケーン発動・互いの魔法トラップゾーンにあるカードをすべて手札に戻す」シン

「く」カイザー

「さらには手札から・サイバードラゴンツバアイを召喚・効果により魔法カードを見せることによってこのカードの名前はサイバードラゴンとなる俺が見せるのは融合・」シン

「何?」カイザー

「このまま決まればカイザーの負けだ」三沢

「お兄さん」翔

「融合発動・サイバードラゴンとなつたプロトサイバードラゴンとサイバードラゴンツバアイとサイバードラゴンを融合・現れる・サイバーエンドドラゴン・・・そして攻撃・エターナル・エボリューション・バースト」シン

サイバーツインドラゴン撃破

4000 - 1200 = 2800

「せりにサイバードラゴン一体でダイレクトアタック」シン

「甘い・手札のマシン・ダメージ・ガードナーを捨て・効果発動・このターン機械族が破壊されていた場合・ダイレクトアタックによるダメージを0にする」カイザー

「フン・そうこなくては天よりの宝札で互いはカードを6枚になるようカードをドローするカードを一枚ふせて・永続魔法禁止令・このカードは俺が宣言したカードを使用することを不可能にする・俺はパワーボンドを宣言・ターンエンドだ」シン

「カイザーの決まり手のパワーボンドが封じられた」三沢

「せりにはあのリバースカードはおそらく」翔

「リミッター解除」明日香

「俺のターン・手札から死者転生を発動・手札を一枚すて墓地にあるモンスターを手札に加える・俺はサイバードラゴンを手札に融合発動・手札のサイバードラゴン三枚を融合し・現れるサイバーエンドドラゴン・さらに・リミッター解除・これにより機械族モンスターの攻撃力を倍にするさらに死者蘇生・現れるマジックキャンセラー・これにより互いはマジックカードを使えない・リミッター解除を使えない今がチャンス・行けサイバー・エンド・ドラゴン・エボリューションバースト」カイザー

「あの『ミミの負けか・・・』万上目

「勝った・俺はオネストの効果発動」シン

「何? オネストだと」カイザー

「そうだ・このカードは光属性モンスターが戦闘を行う時手札から捨てて発動する・戦闘する相手モンスターの攻撃力を自分の戦闘するモンスターに加える・サイバー・エンドドラゴンの攻撃力八千を・俺のサイバー・エンドドラゴンに加える・返り討ちだカウンター・エボリューションバースト」シン

「く」カイザー

LP2800 - 12000 = - 9200

「バツバカな・カイザーが負けた」万上目

「嘘だろ」とりまき

「お兄さんが負けた」翔

「よつしゃ～～～・・・リベンジ果たしたぜ・亮」シン

「やはり・本気のあなたは強いな」亮

「満足だぜ・亮」シン

「え～シン君・君は見事にリベンジを果たし・なおかつ素晴らしいデュエル見せてくれましたそして定期テスト・高得点により・君をオベリスク・ブルーの昇格を許可します」鮫島

「 ょうじや・オベリスクブルー に 亮

「 ああ 」 シン

亮に握手する

そんなんなかインダストリアルリユージョン社では
極秘カードが盗まれていた

「 どい 」 だ～ 「 警備員 」

「 あれを外に持ち出すな ・・ シーンカードを 「 警備員 」

プライドを賭けたリベンジ（後書き）

オリジナルS-E/Nカードと盗んだ人はセブンスターZ編に出てきます

今度の話はテュエルなしでタイタンが出てきます

それと一部とばすかもしねないのでご了承ください

あわれタイタン・クロノスの年齢あわめ（前書き）

密林さんにて指摘された前を最初の文字だけ表示する」としました

密林さんこれでいかがでしょうか？

さらには作者の知識不足に土下座します？

これからはネットなどで質問したり・調べたりして正しく書いていい
じつと思こま

それでも違つ場合は指摘してください

ではよろしくお願ひいたします

あわれタイタン・クロノスの年賀おめ

数日後

俺とカイザーは十代に誘われ怪談をしていた

「とある工場では・・あまりにも酷い扱いを受けた機械が感情を持ち一人また一人と人を機械のなかに入れるらしい」シ

「怖いっす」翔

つとこんな感じで怪談をしていると大徳寺先生がやつて来て廃寮の話をした

よし・タイタンにはかわいそうだけど・クロノスも巻き込んでやる

翌日

俺は海馬コーポレーションに嘘（実際今日起こるから嘘じゃないけど）クロノスが不審者をやとい廃寮に生徒を襲おうとしていることを連絡

そして夜

十代に誘われ散歩するとゆづ名田のもと廃寮前にくると

「なぜだ〜〜」タ

「大人しくしろ不審者・あつシン様」海馬コーポレーション警備員

「お～やはり不審者がいたか・・・」シ

「やはりって？？」翔

「ああクロノスが十代を腹いせに退学までもち一もつとして不審者を雇つたんだ」シ

「そこまでするんすか？たかがデュエルに負けたからって」翔

「正々堂々やつてくれればいいのに」十

「十代言つておく・・人にはプライドを踏み潰されたら人は何でもすると」シ

「分かつた」十

次の日

クロノスが担当する授業は田畠

俺は海馬コーポレーションに依頼していた・翔ののぞき見事件の筆跡・タイタンとの取引のビデオを見せ

クロノスは減給

タイタンはクロノスの暴走で雇われたため

一度としないことを誓い

そしてデュエルの知識・鍊金術の知識・その他もうもうの知識もあつたため

予備の教師としてアカデミア役員として静かに働いてそしてたまにこの学園に教えることになったとき

恋するN女セシャークさんの前では無意味なのです（前書き）

今回はレイ編です

神楽坂の話は次の話になります

恋する乙女はシャークさんの前では無意味なのです

冬休みも過ごし・・・正式にタイタンはテュエルアカデミア教師になどを作り方を教え

タイタンは生徒から人気で基本テックキから勝てるマイアックテック月一試験で高得点をだした生徒にはレアカードを渡すとゆう方針だしかしタイタンいいのか???

一枚ん十万円のカードをだして

話を聞くと海馬に頼み試しにやつているらしい

実際成績最下位の連中が成績をあげてきて成功

海馬は気をよくしてタイタンの給料を上げた

対するクロノスは

ローンがあるためか減給はかなり響き

内職までしているとか

つとすると風の噂でレッドに転校生が来たと言つた

まあ関係ないが

しかし俺も普通の学校生活を送る訳にいかず

そもそもエクシーズ召喚とシンクロ召喚の中間報告の期限が迫っていた

そのため田々翔と十代・隼人に頼みこみデュエルを行う田々だ

そもそも実験台のカードをかなり使って報告書も順調

あとはゼアルでカイトにボコボコにされたあの人 デッキか
(シャークファンの皆様別に軽蔑の意味じやないです・作者はシャークさん好きです)

つとカイザーと雑談しながら報告書を書いてると

レッド寮の生徒??が部屋に入ってきた

「カイザー～～」レ

「誰だ～～・おい・亮・お前の知り合いか?」シ

「いや知らん」力

「おーいレ～イ・ここにいたか」十

「つち」レ

レイ・走つて逃げる

「おい・クロケツ不審者だ・学園の監視カメラを使って追え」シ

「ラジヤー」「クロケ

数分後

海岸にいるところを見つかり

海風で帽子が飛ばされレイが女と発覚！

「僕と『デュエルだ・そうしたらこのことを秘密にしてもらつ』レ

「（結局このあと警備員に捕まるけど）・・・まあいつか・・そのデュエル受けてたつ」シ

「「『デュエル』」シン&レイ

「僕のターン・恋する乙女を召喚して・カードを一枚セットしてターンハンド」レ

「俺のターン・俺は天使の施し発動・三枚引いて一枚捨てる・さうに死者蘇生・現れる・超古深海王シーラーカンス」シ

「いきなり上級モンスター（だけど伏せカードで私に被害は0のはず）」レ

「シーラーカンスの効果発動・手札を一枚捨てて『ティキからレベル4以下の・魚族を可能な限り召喚する・ただし効果は使用できず・攻撃宣言することもできない俺はビッグ・ジョーズ』一体とフライフアング二体を召喚・・・シ

「それで何するつもり・・魚族なんて雑魚を並べて」レ

「なら見せてやるよお前のゆう雑魚の底力を・手札からハリケーン発動・互いの魔法・トラップゾーンに存在するカードを手札に戻す」シ

「えつ・・きやつ・」レ

「さりにビッグジョーズ一体でオーバーレイコニットを構築・エクシーズ召喚・現れるブラック・レイ・ランサー」シ

「何この召喚方法?」レ

「迷惑をかけまくる・馬鹿な奴に説明する気も起きんな・さらにフライファーナー一体でオーバーレイユニットを構築・エクシーズ召喚・現れる・N〇・17・リバイス・ドラゴン・・・おつと・俺はまだ通常召喚を行っていない・・・」のことがどんなことか・分かるか??"シ

「ささあ?」レ

「俺はキラー・ラブ力を召喚・さらに魚族モンスターが召喚されたため手札よりシャーク・サッカーを特殊召喚・一体のモンスターでオーバーレイユニットを構築・エクシーズ召喚・現れる潜空母艦工アロ・シャーク」シ

「あわわわわわわ」レ

「ブラックレイランサーの効果発動・エクシーズ素材を一つ取り除き・相手モンスターを選択して選択したモンスターの効果を無効にする・さらにリバースドラゴンの効果発動・エクシーズ素材を一つ取り除き・攻撃力を五百アップ・終わりだ・ブラックレイランサー

で攻撃・ブラック・スピア」シ

「那邊」

「エアロシャークの攻撃・ビッグイーター・そしてどめだ・リバイスドラゴンの攻撃・リバイス・ストリーム」シ

L
P

「さてと・・あとまあこつらに任せるとか・・クロケツ・あとは頬
む」シ

「了解・しました・シン様・あと」クロケ

「何だ？」シ

「明後日より急にペガサス様が海馬コーポレーション主催のデュエル大会の見学のため・急ぎよ・レポートの提出を明日までにしてほしいのですが」クロケ

「ではよろしくお願ひいたします」クロケ

「お・おいクロケツツ・クロケツツ?」シ

俺はそのたむ中間報告のレポートを徹夜でするはめとなり

当然・授業は寝てて怒られたとさ

神楽坂・忍者をなめたらあかんですよ（前書き）

今回は意外な人が登場します

神楽坂・忍者をなめたらあかんですよ

予定より少し遅れたが・・・武藤遊戯のデッキ展示が明日始まる・理由は簡単だ・・・カイザーにリベンジを果たした日にインダストリアルイリュージョン社の極秘カードが厳重な警備のなか盗まれたからだ

そのことは不安だが別に俺は遊戯さんのデッキをまるごと持つて見るため見る必要はないが・・・だが神楽坂の件も今日のはず・・・

いくら自分のデッキで勝てないとはいってもデッキを盗むのは犯罪行為・待ち伏せするか

夜

俺は海岸付近で神楽坂を待ち伏せしていた
が・・・先に人がいて俺はその人を知っていたため遠くから覗いていた

「クツクツク・・・よつやく俺は最強のデッキを手に入れた」神

「そいつはどうかな?」忍者の格好をした男

「貴様は誰だ・・・まあいい・・・デュエルだ」神

「了承したでゴザル・・・勝つたら盗んだデッキをもとに戻すでゴザル」?

「なぜ・・・・なぜこれを盗んだものとまいい」 神

「「デュエル」」 神&?

「俺の先行ドロー・苦渋の選択を発動・デッキから5枚数のカードを選択して・相手に一枚選ばせ・選ばれたカードは手札に・選ばれなかつたカードは墓地におくる・俺はマグネットウォリアーの（アルファ）・（ベータ）・（ガンマ）・マジシャン・オブ・ブラックカオス・ブラック・マジシャンを選択」 神

「拙者はマジシャン・オブ・ブラック・カオスを選択」 シ

「マジシャン・オブ・ブラック・カオスを手札に加える・死者転生発動・加えたマジシャン・オブ・ブラック・カオスをコストにマグネットウォリアーを手札に加える・さらに手札から闇の量産工場を発動・墓地の通常モンスターを手札に戻す・俺はマグネットウォリアーとマグネットウォリアーを手札に加える・さらに手札の・・・をいけにえにマグネットバルキリオンを召喚さらに・バルキリオンの効果で・墓地の・・・のマグネットウォリアーをこのカードをいけにえに三体とも守備表示で特殊召喚・死者蘇生発動・墓地に送ったバルキリオンを蘇生し・天よりの宝札・互いは手札を6枚になるようカードを引き・カードを一枚セットしてターン

「エンド」 神

「拙者のターン・ドロー・このターンで終わりじゃ・手札の機甲忍者アースを特殊召喚・このカードはカイザーとやら持つていてるサイバードラゴンと同じ効果じゃ・さらに・機甲忍者フレイムを召喚しフレイムの効果発動・このカードの召喚に成功した時レベルを一つ

上げる・拙者はフレーム自身のレベルを上げ・レベルを5にする」シ

「レベルを同じにしてなんの価値が」神

「なら見せてやる・レベル5の一体のモンスターでオーバーレイユニットを構築・エクシーズ召喚・参上せよ・N.O.・12・機甲忍者クリムゾン・シャドー」シ

「エクシーズ召喚だと・・・馬鹿なそれは・シンしか持つてないはず・・・」神

「悪いがの拙者はインダストリアルイリュージョン社の警備員・じや・この機甲忍者シリーズはペガサスが拙者のために作り上げたものじゃ・ペガサスはもうすぐエクシーズ召喚を世にだすため拙者に託したのじゃ・じゃが拙者のターンはまだ終わっていない・機甲忍法・サモン・コール・このカードはフィールドに機構忍者が存在するとき・デッキから機構忍者二体を効果と攻撃宣言をなくして特殊召喚・見参せよ・機甲忍者アクア・機甲忍者・エアー・さらに・アクアとエアーでオーバーレイユニットを構築・見参せよ・機甲忍者・ブレード・ハート・さらにサイクロンでリバースカードを破壊・さらに・機甲忍法・チエンジバースト・風属性の機甲忍者と名の付いたモンスターがいるとき相手モンスターの表示形式をすべて変更する・さらに装備魔法・ブレイク・鎖がまをクリムゾン・シャドーに装備・ゆけクリムゾン・シャドー・破壊の鎖がま・ブレイクチーン・ブレイク鎖がまの効果発動・装備モンスターが攻撃するとき相手のカード一枚破壊するバルキリオンを選択し破壊

マグネットウォリアー 撃破

L P

「くそ」神

「ブレードハートの効果発動エクシーズ素材を一つ取り除き・忍者と名の付いたモンスターにもう一回攻撃する権利を『与える』？」

「ナツニー？・それじゃあ「神

「ゆけい・クリムゾンシャドー・・さらに鎖がまの効果を使い・を破壊し・に攻撃・さらにブレードハートでとどめじや～」？

「クリボーをドロー出来ていなかつたか・・・これが遊戯さんゆうデッキの信頼してない結果か・・・・・・シ

「ではデッキは返してもらひづぞ」？・・少し歩いて

「あいつ・・・・・立ち直れますかね・・・・」

「さあな・・・・・今回は護衛ついでにやつたが・・・・あいつはいつか立ち直れるや」

「そうですか・・・・・それにしても・・・もつ開発されたんですね・

・忍者モンスター・・・・リッチーさん」シ

「ああ・・・それにしてもこれは辛かつたぜ・・・・時代劇にはまつてプロとはいえ変装するはめになつたんだからな」リ

「本当にお疲れ様でした」シ・衣装とデッキを受けとつて

「ああ・・・・それとインダストリアルイリュージョン社に妙な手紙が届いた・・・・」リ

「妙な手紙?」シ

「ああ・・・進化をうみし者を罪深い力で葬り去ると・・・としか・書いてねえ」リ

「何でしちゃうね」シ

そんなんか

理事長室

「つで例のカードは」影丸

「うわうわ・・・他のかードと組み合わせれば使いものになるかと・・・? ?

「フムフム・・・ならば実験としてシンを狙つのだ」?

「はー? ?

神楽坂・忍者をなめたらあかんですよ（後書き）

次回予告

休学をして幼い頃暮らした家に戻ったシン

そこに影丸の部下が封印されたカードを使い襲い掛かる

次回

脅威のS.I.N.モンスター 前編

脅威なるSHEENモンスター（前書き）

オリジナルSHEEN登場です

作者はパラドックスファンです

脅威なるS-2モンスター

「えつ休学？？」シ

「ああ・・貴様の協力で・シンクロ召喚・エクシーズ召喚は秋から始動することが決まってな・・・貴様も俺やペガサスの急な用事に振り回され肩がこつてゐるだろ？？ペガサスに提案して・・しづらく休みを与えることにした」海馬

「はあ」シ

「旅行したければ・場所を言え・・・移動費用と旅館の費用はこち
らから出す」海

「なら・・・・実家に帰つていいですか？？」シ

「たつた一人の妹が心配か・・・まあその気持ちは分かる・・・俺
にもモクバがいるからな・・明日・迎えのヘリコプターを向かわせ
る」海

「では失礼します・・・」シ

数分後

「ツエー？？休暇？」十

「ああ・・しばらく休み無かつたからな・・・」シ

「でもいいな・・・」十

「仕方ないノーネ・・シニヨールシンは・・仕事を兼用しながら学年一位を保つてるノーネ・・・今回の休暇は当然ナノーネ」クロ

「だから・・明日から十日間・・・学園を留守にするな」シ

「でも実家つて家族いなって言つてなかつたすか?」翔

「翔!」三&十

「血の繋がつた・・・妹がいるんだ・・・今は親戚に引き取られているけど」シ

「すいませんツス」翔

「いや・・・いいんだ・・・言わなかつた俺も悪いし・・・」シ

その後十代達は察してか・・・家族に関して話をなかつた

転生前の家族は俺をかばい交通事故で死んだ

だから・・・だからこそ・・・転生した時・・・一緒にいた家族も・・・生きていてほしかった・・・

翌日

「久しぶりだな・・・童実野町」シ「シン様」高見澤

「何だ?」シ

「頼まれたとおりハウスキーパーにより・・掃除などは完了してお

ります・・・」高

「了解・・・この時間レナは学校か・・・それにしても・・・新しい「テック」キを組んだくか・・・」シ

「おー・・・やーこの兄さん・・・「デュエルしないかい?」黒フードの男

「いいだろ?」シ

「しかしシン様・・・」高

「デックの試運転だ・・・」シ

「了解いたしました」高

「では」黒フード

「「デュエル!」」シ

「俺の先行・・・リバースモンスターにリバースカードを一枚セットしてターンarend」シ

「私のターン・・・私はフィールド魔法・SINワールドを発動」黒SINワールド・・・だと」シ

海馬「一ポレーション

「海馬様・・・でもした・・・盗まれたSINカードの一枚を確認」

「・デュエルを警備員が来た時点で強制終了する・システムをセットしておけ・・・あれば禁断のあまり・インダストリアルイリュージョン社で封印されたカードだ」海

「駄目です・・デュエルディスクが反応しません・・・一人のディスクはウイルスが仕掛けであります」スタッフ

「ならウイルスを解除するワクチンを迅速に作れ・・・」海

「了解」スタッフ

（なんとか持ちこたえていた）

「SINワールドがあり初めて召喚出来るモンスターが存在する・・・デッキにある・・レッドアイズブラックドラゴンを墓地に送り・現れよ・SINレッドアイズブラックドラゴン」黒

「いきなりか」シ

「さらに・SINレッドアイズブラックドラゴンはレッドアイズブラックドラゴンとして扱うため・マジック発動・黒炎弾」黒

「そろは・させん・ハネワタの効果・このカードを墓地に送り・効果ダメージを一度だけ0にする（原作のSINモンスターとは違う）

「シ

「ならば・手札より・SINフュージョンを発動・このカードはSINモンスターとの融合に必須カード・手札のSIN・デーモンと・

場のSIN・レッドアイズブラックドラゴンを融合・現れる・SINブラックモンズドラゴン」黒

（新たなSINサポートカードだと？これが俺とゆう存在が引き起こした・イレギュラーカードなのか？）シ

「SIN・ブラックモンズドラゴンの効果・このカードは貫通能力と・破壊した相手モンスターの攻撃力分のダメージを与える・行け・SINブラックモン・罪の波動・SIN・デーモンズ・バースト」黒

「トランプ発動・和睦の死者・」シ

「つち・ならば・手札から・SIN・バーストを発動・フィールドのSINモンスターを除外して・その攻撃力分のダメージを相手のスタンバイフェイズに与える・私はSINブラックモンズドラゴンを除外し・カードを一枚セットしてターンエンド」黒

「俺のターン」シ

「スタンバイフェイズになつたため・SINブラックモンズドラゴンの攻撃力三千一百のダメージを受けてもうつ」黒

LP 40000 - 3200 = 800

「ぐわつダメージが現実にだと？」シ

「言い忘れていたがこれは闇のゲームだ・・・それを肝に命じておけ」黒

「これが・・・これが闇のゲーム」シ

脅威なるSHZモンスター（前書き）

SHZ使いの正体とは？？

脅威なるSINEモンスター

「俺のターン・ドロー・・・一気に攻める・手札より融合発動・手札のサイバードラゴン三体を融合して・現れる・サイバーエンドドラゴン」シ

「ほう」黒

「いけ・サイバーエンドドラゴン・エターナルエボリューションバースト」シ

（通れ・・・）

サイバーエンドドラゴンの攻撃が直撃する

「ふう・危なかつた・この永続トラップカード・SINE・ドレイン・がなかつたら私は負けていた・このカードは・自分がダイレクトアタックを受ける時墓地のSINEモンスターを除外し・除外したモンスターの攻撃力分ライフを回復する・私はSINEレッドライズブラックドラゴンを除外してライフを一千四百回復していたのだ」黒

「何?」シ

「さらに永続トラップ・罪の解放洗脳・発動・このカードはダイレクトアタックをしたモンスターのコントロールを得る・さらに・名前にSINEと加える・サイバーエンドドラゴンのコントロールを得て・SINEサイバーエンドドラゴンとして私の場に君臨」黒

「カードをセットしてターンエンド」シ

「私のターンドロー・手札から魔法カード・天よりの宝札を発動・互いはカードを6枚になるようにカードをドローする・さらに・SIN・ブレイク・トルネードを発動・フィールドにSIN・モンスターが存在するとき相手のデッキからSINモンスターのレベルの数だけ・デッキの上からカードを墓地に送る・SINサイバーエンドドラゴンのレベルは10よつて十枚のカードを墓地に送れ」黒

「く」シ

デッキ枚数残り17

「せりに手札とデッキにある・SINモンスターをそれぞれ一枚墓地におくり手札より・SIN・リサイクル・カウントダウンを発動・このカードはフィールドにSINモンスターが存在するとき一ターンに一度・墓地にあるSINとのついた魔法カードをこのカードの効果としてしようできる・私は再びSIN・ブレイク・トルネードの効果を使用し・貴様のデッキから十枚のカードを墓地に送れ・ただし・私はSINリサイクルカウントダウンの効果を使用した・ターン・攻撃はできない・ターンエンド」黒

「く」シ

デッキ残り7枚

「俺のターン・・・シ

（手札があつても・・デッキがなくなれば・デュエルは俺の敗北・・リサイクルカウントダウン・の発動までに攻略方法を考えなければ）

「俺は手札から・地割れ発動・・・」シ

「わっ私は・・・手札からSINガーディアンを墓地に送り・効果発動・ガーディアンは・このターン・SINモンスターの効果破壊を無効にする」黒

（奴が慌てた？・・・そういうえばカウンタダウンの発動条件は・・・SINモンスターの存在が必須・・・存在が必須？・・・確かにSINモンスターはパラレルギア以外はレベル5以上のモンスター・・・・ゆえにロックがしやすいと・転生前は友人にロックデッキでぼこられたな・・・シンクロでロックするやつ・・・・そういうや遊星対ジャックの最終戦・・・そういうやあのカードなら・・・だが俺の手札にはチューナーや蘇生カードがないならば）

「俺はリバースモンスターとリバースカードを一枚伏せてターンエンド」シ

「私のターン・・手札よりSINボックスを発動・・次のターン・SINモンスターをデッキから手札に加える・ゆけSINサイバーエンド・エターナルエボリューションバースト・・」黒

「トラップ発動・・・身代わりの贈り物・このカードは自分フィールドのモンスターを墓地に送り・・墓地からカードを一枚手札に加える俺はサイバードラゴンを手札に加える・さらに・トラップ発動・幻影の盾・フィールドのモンスターを墓地に送り・このターン発生するダメージを0にする・・」シ

「つちターンエンド」黒

「俺のターン・ドロー・手札よりコール・リゾネーターを発動・効果でデッキから・リゾネーターとのついたモンスターを一枚デッキから手札に加える・おれはダークリゾネーターを手札に」シ

「何をしようと・貴様はSINカウントダウンの効果でデッキが0となり敗北する」黒

「それはどうかな?」シ

「何?」黒

「見せてやるよ・・・デュエルの進化を手札から・サイバードラゴンを特殊召喚・さらにチューナーモンスター・ダークリゾネーターを召喚・サイバードラゴンに・ダークリゾネーターをチューニング・紅蓮の炎を駆け巡る・戦士よ・今その二双の剣を振るいまわし現れろ・シンクロ召喚・いでよ・クリムゾン・ブレーダー」シ

「ほう・・・それが噂のシンクロ召喚・・・だがしかしSINサイバー エンドの攻撃力は四千・それでどうするつもりだ?」黒

「攻撃だ・クリムゾンブレーダー・さらに・手札から速攻魔法・紅蓮の咆哮・このカードは融合デッキにある・レッドデータモンズドラゴンを墓地に送り・相手モンスターの攻撃力を三千をげる」シ

「何?」黒

「いけ・クリムゾンブレーダー・ツイン・クリムゾン・スラッシュ」シ

「くつだが・・・次のターン・どうあがこうが・SINモンスターが

手札に加わる・貴様の負けだ」シ

「それは・どうかな？・・・クリムゾンブレーダーの効果・それは・相手モンスターを戦闘によって破壊し墓地に送った時次の相手ターン相手はレベル5の・モンスターを召喚・特殊召喚・できない」シ

「何？！？」黒

「みたところ・SINモンスターは5レベル以上のモンスターばかり・・・これは効くだろ・・カードを一枚ふせてターンエンド」シ

「私のターン・・・ターンエンド」シ

「俺のターン・行けクリムゾンブレーダー・・・ダイレクトアタック」シ

「くそ」黒・煙幕を使い逃げる

「待て」シ

「忠告しておく・・・いずれデュエルアカデミアに大いなる災いが訪れる・・・我々セブンスターズは既にデュエル進化を知り・・・強さは桁違いだと」黒

「セブンスターズだと！？」シ

（既にあいつらは動き出していた・・・まさか・最近・インダストリアルリュージョン社で大量にカードの資料が盗まれた・・・まさかあいつの正体は・あの目が書かれた黒フードは・・・グール

ズの残党か？）

ちなみにこのことを調べるために俺はインダストリアルリュージョン社に戻りデータの確認をしていた

脅威なるヒーローモンスター（後書き）

妹は修学旅行編で出てきます

寮対抗代表決定戦十代対三沢・前編（前書き）

週間アクセス2400突破

ありがとうございます

読んで下さってる皆様方に感謝しております

前回投稿した脅威なるHORNモンスターに前編・後編を加わるのを
忘れました

お詫び申し上げます

それでは・お楽しみください

寮対抗代表決定戦十代対三沢・前編

俺がアカデミアに戻り・・数日間がたつた

俺は三沢・十代とともに校長室にいた

「えつ交流戦・代表決定戦?」=

「ええ・今年の一年生は既にとうかくをあらわしています・カイザーは今年の交流戦を辞退して今年の代表は各寮から一年生・の中の一名寮長からの指名を受けた者を代表決定戦に参加させる・いわば君達は寮の代表なのです」鮫

「へえー」十

「なので・・・君達には明日・代表決定戦に参加してもらいます・・ルールは代表が残りの代表と戦つてもらいます・では解散」鮫

解散後

「こよいよか」三

「お互いのデュエルを楽しもうぜ」十

「ああ」シ&二

翌日

「みんな誰が代表になると思つますか」 翔

「私は十代に」 ももえ

「私は三沢に」 ジュンコ

「私はシンに」 明日香

「俺もシンに」 隼人

「僕はアニキに」 翔

「あつ始まるぞ」 隼人

「これより寮対抗代表決定戦を開催するノーネ・・対戦相手はくじで決めたノーネ・それではまず最初に対戦するのは・レッド寮・遊戯・十代・イエロー寮・三沢・大地」 ク

クロノスに言われ・十代と三沢が入場する

「楽しもつ」 三

「ああ」 十

「もうひとり・ブルー寮代表のシンは控室でデュエルを見ないうことになっているノーネ・では」 ク
ステージから降りる

「「デュエル」」 三沢&十代

「三沢対十代・・・俺の介入によつて・二人は原作よりも強くなり派手にやつてるはずだ・・・見れないのは残念だ」シ

ステージ

「俺の先行ドロー・俺は天使の施しを発動・三枚引いて一枚捨てる・さらに苦渋の選択を発動・俺はマグネットウォリアー・・・とクリッターそしてネクロガードナーを選択・さあ十代・この中からカードを一枚選べ・」三

「俺はネクロガードナーを選択」十

「俺はネクロガードナーを手札に加えたあと選択されなかつたカードを墓地に送る・さらにハイドロゲドンを召喚・カードを一枚伏せてターンエンド」三

「俺のターン・手札から大嵐を発動・さらに融合を使いアブソルートゼロを召喚・ゼロはフィールドに水属性モンスターの数×五百攻撃力をアップ・さらに墓地のネクロダークマンの効果発動・手札のレベル5以上のヒーローを生贅なしで召喚できる・いでよヒツジマン」十

「このまま決まればアーチの勝ちつす」翔

「いけ・アブソルートゼロ・ハイドロゲドンに攻撃・エターナル・ブリザード」十代

LP 4000 - 1400 = 2600

「くつ」三

「！」の瞬間・墓地のトラップカード・バブルトラップを発動！このカードが・墓地にあるとき・水属性モンスターが戦闘で破壊された時・相手フィールド場のモンスターを破壊する・俺はエッジマンを破壊」三

「そんな・カードを一枚セットしてターンエンド」十

「俺のターン・俺はネクロガードナーを攻撃表示で召喚し強制転移を発動・このカードは互いはモンスターを選択して入れ換える・もつとも互いに交換に出すモンスターは決まっているがな」三

「・・・・・俺はアブソルートゼロ選択」十

「俺はネクロガードナーを選択・さらにアブソルートゼロでネクロガードナーに攻撃・絶対零度」三

LP 4000 - 1900 = 2100

「く・」十

「焦るなよ・十代・・ゲームはまだ始まつたばかりだ」三

寮対抗代表決定戦十代対三沢・後編（前書き）

今回は三沢を強く見せられたかな？

寮対抗代表決定戦十代対三沢・後編

「俺はモンスターが戦闘で破壊されたため希望の戦士を発動・このカードは相手フィールド場に存在するモンスターの攻撃力が俺のライフを越えている場合・墓地の戦士族を特殊召喚する・蘇れ・エッジマン」十

「カードを一枚セットし・さらに天よりの宝札を発動・互いはカードを6枚になるようにカードをドローする・ターンエンド」三

「俺のターンドロー・ハリケーン発動・さらに融合を使い・ランパートガンナーを守備表示で召喚・行けつランパートガンナー・でダメイレクトアタック・カードを一枚セットしてターンエンド」十
LP2600-1000=1600

「俺のターン（さすが十代・融合封じコンボに気がついたのか・それとも勘か？だがサイクロンがきても問題ない）俺は手札からハイドロゲドンを召喚・さらに闇の量産工場を使い墓地のマグネットウォリアー・を回収・さらに手札より・手札断殺を使い互いは手札のカード一枚を墓地に送り・さらにデッキからカードを一枚ドローする・さらに闇の量産工場を使い・墓地のマグネットウォリアーとを回収・さらに・手札の を墓地に送り・現れるマグネットバルキリオン」三

「攻撃力三千五百だつて？」翔

「あれは伝説の決闘者・武藤・遊戯が使つたカード」明

「すごいんだな」「隼

「へつスゲエな三沢」十

「讃めてる場合か？・俺は手札より・速攻魔法・収縮を使い・エッジマンの攻撃力を半分にして・ハイドロゲドンでエッジマンに攻撃」三

「トライップ発動・忍耐の戦士発動・エッジマンはこのターン戦闘での破壊で破壊されない」十

LP2100 - 300 = 1800

「ならば・マグネットバルキリオンで攻撃」三

「ドレインシールド発動・攻撃を一度無効にしてライフを回復する」十

LP1800 + 3500 = 5300

「ならば・アブソルートゼロで攻撃」三

LP5300 - 1200 = 4100

「く」十

「カードを一枚セットしてターンエンド」三

「俺のターン・融合発動」十

「カウンタートライップ発動・封魔の呪印！このカードは手札の魔法をすべて発動する・魔法カードの発動を無効にして・無効にした魔法カードはこのデッキエル中一度と使えない」三

「ならサイクロンでもうひとつリバースカードを破壊するさらに天使の施しで三枚引いて一枚捨てる・・・俺は速攻魔法融合解除を

発動・アブソルートゼロを選択「十

「何?」三

「アブソルートゼロの効果は知ってるよな?・・このカードがフィールドを離れた時・相手モンスターすべてを破壊する「十

「しまつた」三

「さらに融合素材のネクロダークマンとオーシャンを蘇生・行け・エッジマン・エッジハンマー」十
LP 1600 - 2600 = - 1000
(畜生)

「勝者・レッド寮・遊戯十代」クロ

「よくやつた」・・・「いいぞ」レッド寮生徒

「次の試合は三沢大地と械・シンナーネ・・・選手入場・・・ブルー寮・械・シン」クロ

シンが入場する

「十代が勝ったか・・・まあいい・・予想圏内だ」シ

「ではデュエル・スタート」クロ

「デュエル」三&シ

寮対抗代表決定戦シン対三沢（前書き）

今回の三沢は噛ませ犬です

寮対抗代表決定戦シン対三沢

「先行はもうう・ドロー・俺はサイバーラーバアを攻撃表示で召喚・さらにカードを四枚セットしさらにマジックカード・封印の黄金櫃を使いデッキから・パワーボンドを除外・除外したパワーボンドは二ターン後のスタンバイフェイズに手札に加わる・さらに天よりの宝札で互いは手札を6枚になるようにドローする・ターンエンド」シ

「俺のターン（攻撃力が四百を攻撃表示？明かに罷だ・だが）今の俺には攻めるしかない・ハイドロゲドンを召喚し・サイバーラーバアに攻撃」三

「サイバーラーバアの効果・このカードが攻撃表示になつた俺はこのターン戦闘ダメージは0になる・さらに永続トラップ・サイバーサモンブラスターを一枚発動・このカードは機械族が特殊召喚されるたび相手に三百ポイントのダメージを与える」シ

「まさかサイバーラーバアには・機械族を特殊召喚する・リクルーター能力が？！」三

「正確には同名モンスター一体をデッキから特殊召喚するのが効果だ・ハイドロゲドンとのバトルで破壊されたため・デッキよりサイバーラーバアを特殊召喚・よつてサイバーサモンブラスターの一枚の効果で六百ポイントのダメージを受けてもらう」シ

LP 4000 - 600 = 3400

「だがハイドロゲドンが戦闘でモンスターを破壊したためハイドロゲドンをデッキより特殊召喚・ハイドロゲドンでサイバーラーバアを攻撃」三

「デッキよりサイバー・ラーバアを召喚し・サイバー・サモン・プラスターの効果により・六百ポイントのダメージを受けても」シ

LP 3400 - 600 = 2800

「それはこちらも同じだ・行けハイドロゲドン・最後のサイバー・ラーバアを攻撃」三

「トラップ発動・サイバー・リサイクルユーニット・このカードは手札を一枚捨て・墓地のサイバーと名のついたカードをデッキの一一番下に置きカードを一枚ドローする・さらにサイバー・ラーバアの効果・戦闘で破壊されたためデッキよりサイバー・ラーバアを特殊召喚さらに六百ポイントダメージ」シ

LP 2800 - 600 = 2200

「・・強欲な壺発動・ピケルの恩恵を発動しピケルを三枚見せて三枚使いライフを三千回復・・・カードを一枚セットしてターンエンド」三

LP 2200 + 3000 = 5200

「俺のターン・手札より融合発動手札のサイバードラゴンを含むモンスターを融合素材に」シ

「カウンタートラップ発動・封魔の呪印・発動」三

「」苦労だな・・手札よりJFO・タートルを召喚・さらにスピリットバリア・さらにサイクロンでリバースカードを破壊さらに速攻化発動・発動コストで手札を一枚捨てるこの効果で手札からバトルフェイズに通常魔法を発動できる・天使の施しで三枚引いて一枚捨てる」シ

「サイバーサモン・プラスターでライフを削る気か」三

「さあな？・行けサイバー・ラーバア・ラーバアが戦闘で破壊されたためデッキから・最後のサイバー・ラーバアをさらにUFOタートルでハイドロゲドンに特効さらにUFOタートルの効果でさらにUFOタートルを特殊召喚・召喚した・UFOタートルで特効さらに効果でUFOタートルを召喚し・特効さらにデッキよりサイバーフェニックスを召喚・さらに悪夢を見せてやる」シ
L P 5 2 0 0 - 9 0 0 = 4 3 0 0

「何？」三

「速攻化により手札から通常魔法・オーバーロードフュージョンを発動・俺は墓地にあるサイバードラゴン一枚とUFOタートル三枚・さらにサイバー・ラーバア三枚と・サイバードラゴンツバアイ一枚とフィールドのサイバーフェニックスを融合・いでよ・キメラティック・オーバー・ドラゴン・このカードの攻撃力は融合素材のモンスター×八百となるよつて攻撃力・八千だ・さらにこのカードは融合素材の数だけ攻撃できる」シ

「そんな・・・」三

「キメラティックオーバードラゴンの攻撃・キメラティック・レーザー・三連射」シ

L P 4 3 0 0 - 1 9 2 0 0 = - 1 4 9 0 0

「勝者・械シン・よつて三沢大地は・代表決定戦・敗北・ナノーネ」
クロ

「がつかりだ・・・せつかく手が読まれているサイバー・デッキを使つたのに」シ

「くそ・・・俺は・・・俺は絶対お前を倒す・いや倒してみ

せる「三

「では代表決定戦最終戦・・レッド寮代表・遊戯十代対ブルー寮代表・械シン・・・デュエル開始ナーノーネ」クロ

「「デュエル」・十代&シン

寮対抗代表決定戦シン対三沢（後書き）

来週からテストが始まるので更新が遅れるかもしれません
楽しみにしている方々にお詫び申し上げます

寮対抗代表決定戦・十代VSシン（前書き）

すいません

先週に載せるつもりがノロウイルスにかかりのせれませんでした

本当にすいません

寮対抗代表決定戦・十代VSシン

「俺の先行ドロー・手札から・永続魔法サイバーフォトン・フィールドを発動・このカードがフィールドに存在する時・自分のサイバーと名のついた・モンスターの数だけ・相手の魔法・トラップを無効にして破壊する・手札よりサイバー・ガーディアンを守備表示で召喚・このカードが召喚に成功したとき・デッキよりレベル4以下のサイバーを守備表示で特殊召喚するただし効果は無効となる・いですよプロトサイバー」シ

「何?」十

「これにより・・俺はお前の融合を封じることができる・カードを一枚セットしてターンエンド」シ

「俺のターンドロー・・手札から融合発動」十

「当然無効」シ

「手札からシールドクラッシュ発動」十

「これも無効だ」シ

「手札よりマジックカード・天使の施しを使い・三枚引いて一枚捨てる・さらにバブルマンを召喚・（壺男が？バイ三沢）フィールドにこのカードしか存在しないためカードを一枚ドローする・さらに手札よりヒーローチェンジ発動・フィールドのヒーローをいけにえ

に墓地のヒーローを召喚ただし同じヒーローは召喚できないけどな
するいでよオーシャン・さらに墓地のネクロダークマンの効果でエ
ッジマンを召喚して・ミラクルフュージョン発動・墓地のネクロダ
ークマンとバブルマンを融合・こい・アブソルートゼロ」+

「トラップ発動・フュージョンアウト・このカードはフィールドの
モンスターを生贊に相手の融合モンスターの召喚を無効にして破壊
する・俺はプロトサイバードラゴンを生贊にする・さらにアブソル
ートゼロの効果の発動に対し道連れ発動・自分のモンスターがフ
ィールドから墓地に送られる時・相手モンスター・一体を破壊する・
エッジマンには道連れになつてもらひ」シ

「くそカードを一枚セットしてターンエンド」+

「俺のターンドロー・手札からサイバーと呪のついたモンスターを
墓地に送り・手札からサイバーインパクト発動・これにより相手の
リバースカードを一枚破壊する」シ

「そんな（これじゃあ・エッジマンを蘇生できない・発動条件を満
たしてないためエッジハンマーも発動できない）」+

「さらに天よりの宝札を発動・互いにカードを6枚ドローする・さ
らに手札からパワー・ボンド・手札のサイバードラゴン一枚を融合・
いでよサイバーツインドラゴン・さらにリミッター解除・パワー・ボ
ンドの効果も交じり・4倍となる・行けサイバーツインドラゴン・
ツインエボリューションバースト」シ

「うわ～」+

「これで学園の代表は俺だ」シ

「く～楽しい『テュエル』だつた・またやろづぜ」十

「そんなことより十代・もうすぐこの学園で戦いが起る・大切な物を失いたくなれば力を研いておけ」シ

「どうゆうことだ?」十

「いづれ分かる」シ

（次の相手は万丈目か・・・まあ負けないとしてセブンスターズでは若干不安がある・・・・・原作とは違うサイバー流にいたころにこつそりすり変えたからな・・サイバーダークシリーズを取り寄せるか）

シンは知らない・・・サイバーダークシリーズを賭けてカイザーと一騎打ちになるのがもうすぐ学園で行われるのを

対ノース万丈目
目が眩んだ欲望は犬にでも食わしておけ

ノース校来航する当日

「完成」シ

(このデッキは万丈目を叩き潰す・しばらくシンクロ・エクシーズ
使えないしな)で・調べましたよ・禁止制限・準制限カード・苦渋
の選択とか使える時点で間違ってる・まあシンクロが発達したらル
ールは代わるだろうが・それより原作ブレイク作戦はまだ始まつた
ばかり・なんせ今海馬「一ポレーシヨンに頼んでネオスがこちらに
向かっている・セブンスターズ編には間に合うだろうな・ユベルは・
・・・現在インダストリアルイリュージョン社で精霊と話せる人間
が保管している・・・いやなんせ二年間派手に行つてさらによく一年は
平和にしたい・・・まあユベルには十代にあわせると言つてある・・
それでおとなしくするとゆう約束をした・・・不安だ・・・
不安でしかない・・・まあいつか・・・責任は全部十代なんだし・
・・・さすがにかわいそうか・・・策はあとで考えよう・・・・・・・・
ん電話?)

「もしもし？ はいペガサスさん？」シ

ところ変わつてデュエル場

「すごいカメラの数だな・・・」

「…海馬…ホレ…シ…と…外…ア…リ…ア…イ…シ…」
「…社…の…カ…メ…ラ…が…シ…ン…ク…ロ…召…喚…の…エ…キ…シ…ビ…シ…ョ…ン…戦…に…今…回…の…学…園…対…抗…を…利…用…す…る…み…た…い…」明

「までよ・・それじやあ万丈田は・・・」十

「血祭りにあげられるためにあそびにいふことになるつす」翔

「さて……貴様にデッキを選ばせてやる……一つは氷……一つは渓谷……暗黒あーこのなかからどれを選ぶ?」シ

（氷だと前回シリーラにやらされたからな暗黒は物騒だなら）
渓谷を選択する「万

「なら」シ

「デュエル」シ&万

俺の先行・ドロー・おれは通常召喚権利を破棄してマジックカード・レベル・サモンを発動・手札のレベルモンスター・一枚を墓地に送り・そのレベルモンスターの進化先をデッキより特殊召喚・ただし攻撃はできないが先行だからそのリスクはルールによつて・関係ないの俺はアームド・ドラゴン・レベル3を墓地に送りアームド・ドラゴン・レベル5を特殊召喚・さらにカードを一枚セットして未来融合・フュー・チャーフュー・ジヨン発動・俺はF・G・Dを選択・俺は融合素材のドラゴン族5枚を墓地に送る・ゴーレムドラゴン一枚とスピアドラゴンとサファイアドラゴンとタイラントドラゴンを選択これでターンエンド」万

「俺のターン・ドロー・俺は大嵐を発動・フィールド場に存在する魔法・トラップをすべて破壊する(伏せカーデは・・・うわつリビ

ングデッジに収縮かよ・・・多分レベルアップを狙つたつもりだろうけど・・・シンク口には劣るな）俺は・フィールド魔法・竜の渓谷を発動・このカードは手札からカードを一枚捨てて効果を発動する・俺は手札のドラグニティ・ファランクスを捨て・デッキからドラグニティと名のついたモンスターを手札に加える俺はドラグニティ・ドウクスを手札に加える・さらに加えたドウクスを召喚して・ドウクスは自信の効果で墓地のドラグニティを装備できる・俺はファランクスを装備しファランクスは装備カードの自身のフィールドに特殊召喚できる・万丈目こいつはチューナーだ・意味分かるよな

（シ

「まさか」万

「予想通りだ・俺は装備状態のファランクスをフィールドに特殊召喚・4のドラグニティドウクスに 2のドラグニティ・ファランクスをチューニング・疾風を駆け抜ける・竜騎士よ・決着をつけるべく今この場に出現せよ・シンク口召喚・現れよ・ドラグニティナイト・ヴァジュランダ・」シ

「なんだ・たかが1900で何ができる」万

「ドラグニティナイト・ヴァジュランダは墓地にあるドラグニティを装備カードとして装備・さらに装備されている・ドラグニティを墓地に送り・攻撃力を倍にする」シ

「何?」万

「さらに・手札から永続魔法・竜操術を発動・このカードの効果で手札のドラグニティを装備する・俺はドラグニティ・ブランディストックをドラグニティナイト・ヴァジュランダに装備して・竜操術

の効果で攻撃力・五百アップし・ブランディストックは装備モンスターを二回攻撃を可能にする・よつてこのターンでデュエルは終了するが・収縮発動・アームドドラゴンレベル5の攻撃力を半分に・このターンが終焉だ・行け・ドラグニティナイト・ヴァジュランダ・・結束の双剣・二連げき・ダイイチダ～シ

LP 40000 - 31000 = 900

「うわー」万

「ダイニダ～」シ

LP 9000 - 4300 = - 3400

「何をやつている? 準・貴様は全国に万丈目一族の恥さらしをしたんだぞ」万丈目長男

(これやだな・・・念のため用意したかいがあつた)

シン・万丈目・アニその一の肩を叩く

「なんだ貴様」万丈目次男

「KILL・YOU・テレビのニュースを見る」シ

「ニュースだと?」万丈目ブラザーズ

ニュースを見ると

政治献金問題など万丈目兄が起こした法律違反を報道していた

「これは……馬鹿なあれば他言無用で金をかけたはず」万丈目兄

「お前の近辺のやつを買収したら出たぞ・まあ一部の奴らは海馬口
一ポレーションやインダストリアルイリュージョン社に雇われるな
らいいつて泣きついてきたよ……お前らよつぽどひどいことし
たんだな」シ

「くそ」万丈目・兄達・対応するために帰る

その後・万丈目は原作通りにオシリスレッドに

さあて祭はもうすぐか……

対ノース万丈目 目が眩んだ欲望は犬にでも食わしておけ（後書き）

次回

セブンスターズ編始まり・サイバーダークを賭けた戦い・亮?シン

セブンスター・ズ編開幕・サイバーダークシリーズを賭けた戦い・亮・シン（前編）

こんな駄文を読んでくださつてありがとうございます？

セブンスターズ編開幕・サイバーダークシリーズを賭けた戦い・亮？シン

ノース万丈目と戦い数日がたつた

もつそろそろかなつと思つてゐると

「明日香君・十代君・それに三沢君・シン君・万丈目君・校長がお呼びだニヤー」一緒に校長室に来てほしいニヤー」大徳寺

廊下

「こJのメンバーを呼ぶ理由つてなんだ・三沢？」十

「さあな・分かるのはこのメンバーは実技成績をトップで通過しているだけだ」三

ちなみに順位は

一位シン&十代

二位明日香&万丈目&三沢

「おつかイザーとクロノス先生も一緒に」十

その後三幻魔の説明を聞いたが飛ばすだつてみんな原作と全く同じだもの

その後鍵を受け取る前に校長いや鮫島師範から衝撃の一言が

「亮・シン君達には裏サイバー流もといサイバーダークシリーズを受け取る気はないか?」鮫

「…………「サイバーダークシリーズ?」…………シン」と亮以外

「サイバーダークシリーズそれはサイバー流に反し・リスクペクトを否定したまさに裏サイバー」シン

「その圧倒的力とサイバー流に反したため封印されていたサイバーシリーズ…………でも何故?」亮

「聞いたところセブンスターズはインダストリアルリュージョン社のデータを盗み・そこから強力なカードを作り出すと言う…………・それに対抗するにはデータが破棄されたサイバーダークを使う選択肢もあります……亮・シン受け取る気はありますか?」鮫

「俺は受け取らない……おそらくシンも」亮

「いいや受け取る……セブンスターズに対抗するために選択肢を増やすのもいいからな」シ

「…………やはりあなたは変わった……インダストリアルイリュージョン社で一体何が?」亮

「別に……リスクペクトデュエルみたく手加減デュエルも相手に失礼と教えられただけだ」シ

「…………ならデュエルです……俺が勝つたらサイバーダー

クシリーズは受け取らない・・・俺が負けたら何もいいません・・・

・「亮

「いいだろう・そのかわり・このデュエルで俺が使用するのはサイバーダークだ・・・これなら納得がいくだろ・表が勝てば裏の考えが通り・裏が勝てば裏の考えも肯定される」シ

「分かりました・・・では今から1時間後デュエル場で待つてます」
亮

1時間後

「リスクペクトデュエルを否定するデッキなんて認められない????」

翔

「だけど大丈夫かしら」明

「確かに・いくら強力と言つてもサイバーダークシリーズを初めて見るシンに使いこなせるか」三

「そこが勝利の分かれ目か」十

「おつ始まるぞ」万

「リスクペクトデュエルを否定するサイバーダークを俺は倒す」亮

「やつてみな」シン

「「デュエル」シン&亮

「先行はもうおうか・ドロー・俺は龍の羽ばたき跡を発動・手札のドラゴン族を一枚墓地に送り・カードを一枚ドロー・現れよサイバーダークの機械・サイバーダークホーン・こいつは召喚に成功した時・墓地のレベル4以下のドラゴン族を装備する・俺は墓地にあるレアメタルドラゴンを装備・サイバーダークシリーズは装備したモンスターの攻撃力分攻撃力をアップする・レアメタルドラゴンの攻撃力は2400よつて攻撃力は3200だ」シ

「先行で攻撃力3000越え?」明

「あんなカード反則つす」翔

「いや・レアメタルドラゴンはその攻撃力ゆえ通常召喚は許されでない・特殊召喚でのみ召喚可能なモンスターだ」万

「さすがドラゴン族使い」三

「俺はカードを一枚セットしてターンエンド・」シ

「俺のターン・パワー・ボンド発動・これにより手札のサイバーダラゴン三枚を融合いでよサイバーエンド・ドラゴン・パワー・ボンドによつて攻撃力は二倍・行け・サイバーエンド・ドラゴン・エターナルエボリューションバースト」亮

「トラップ発動・パワーウォール・ライフの百ダメージにつきデッキのカードを一枚墓地に送り・そのダメージを無効にする・俺は48枚のカードを墓地に送り・サイバーエンド・ドラゴンのダメージを無効」シ

「何?自分のデッキを無効にしてまで・・・なぜ」亮

「なぜ？ 答えは単純だ・・・勝つためだ・サイバーダークは破壊される時・代わりに装備カードを破壊する」シ

「サイバージラフを召喚し効果で生贊にしてパワー・ボンドのデメリットを回避カードを一枚伏せてターンエンド」亮

「俺のターン・ドロー・俺は手札から・同名排除発動・相手のモンスター一体を選択し・そのモンスターの同名モンスターがいる場合それを墓地に送る・いなければ選択したモンスターの攻撃力の半分のダメージを受ける・俺はお前のサイバーエンドドラゴンを宣言・融合デッキにあるはずだ」シ

「確かにサイバーエンドドラゴンは一枚ある・墓地に送る」亮

「俺は強欲な壺を発動・デッキからカードを一枚ドロー・これで準備は整つた・手札より黄泉の恵発動・このカードは墓地に40枚以上のカードが存在する場合発動可能！デッキと手札にあるカードを全て墓地に送り・墓地にある6枚のカードを手札に加える・デビルサイクロン発動このカードはライフを半分払い・相手のリバースカードを破壊する・このさいチエーン出来ない・さらにリバースカード発動・輪廻どくだん・このカードは墓地にあるモンスターを俺が宣言した種族にする・俺はドラゴン族を選択・パワー・ボンド発動・フィールドのサイバーダークホーンと手札のサイバーダークエッジ・キールを融合・いじでよサイバーダークドラゴン・パワー・ボンドの効果で攻撃力は一倍さらにドラゴン族となつたサイバーエンドドラゴンを装備・さらに墓地のカード一枚につき攻撃力・100ポイントアップ・墓地のカードは50枚・よつて攻撃力・11000さらにマジックカード・収縮・相手モンスターの攻撃力を元々の半分にして・攻撃・いけ・サイバーダークドラゴン・フルダークネス・バー

スト」シ

LP4000-9000= -5000

「くそつ」亮

セブンスター・ズ編開幕・サイバーダークシリーズを賭けた戦い・亮?シン（後書き）

今週は四話ぐらい投稿したいと思います

セブンスター・ズ編開幕・サイバーダークシリーズを賭けた戦い・亮・シンデュエ

すいません?????

携帯で投稿して文字数の数を越えていることに気がついていませんでした?????

セブンスターZ編開幕・サイバーダークシリーズを賭けた戦い・亮？シン？テュ

「お前らしくもない・あの時普通はサイバードラゴンを守備表示にするか・それともサイバーツイン・ドラゴンで攻めれば結果は違つていたはずだ・お前はサイバーダークに恐怖を感じていたんだな」シ

「シン君・デッキを強化してもらつたのは嬉しかつたけど・今回は認められない・徹底的に叩き潰すのはサイバー流に反する・サイバー流のデッキを返せ」翔

「よせ翔・これは俺とシンの問題だ」亮

「けど」翔

「翔・サイバー流のカードは預けてやるそれと亮・一つ警告しておく・リスペクトデュエルの甘い考えはこれからお前の足を引っ張ることになるぞ」シ

「なら・俺はそれを乗り越えてみせる」亮

その後俺は原作で大徳寺先生が預かる予定の鍵を受けとつた

その後カイザーはカミコーラに負け・リスペクトデュエルを捨てる決意をするのはもうすぐである

夜

「いきなり何の用事だ？神」シ

「主には神の器の試練を受けでもうつ・このままでは幻摩は復活するからの」神

「いいだろう・相手は誰だ?」シイキなり男が現れ
「俺達だ」二人組

神からの試練・対天豪ジロウ前編（前書き）

作者乱入（笑）

神からの試練・対天豪ジロウ前編

「試練は・特別な空間で行う」神は三人を転送した
空間

「まずは自己紹介だ・俺は天豪ジロウ・パラドックスとともにロマンを追う者だ・・今回はたまたま死んだところ神の手伝いをするかわり・とあるカードをいただいた」ジ

「俺の名は械シン・転成者だ」シ

「時間がないぞ・ジロウ・両者構える」パ

「これより試練を始める」ジ・デュエルディスクを装着

「デュエル」「ジロウ&シン

「俺のターンドロー・俺は永続魔法・未来融合を発動・俺はファイブ・ゴッド・ドラゴンを選択しデッキよりウィッシュ・シードラゴンとトライホーン・ドラゴンと伝説の白石を墓地に・さらに伝説の白石の効果によりデッキからブルーアイズホワイトドラゴンを三枚手札に・さらにバーナ・リバース発動・このカードは俺の通常召喚権利を破棄する代わりに墓地の通常モンスターを特殊召喚できる・いでよ・俺のデュエルの始めるきつかけをつくつた・ドラゴン・トライホーン・ドラゴンを墓地から攻撃表示で特殊召喚・さらに融合発動・手札のブルーアイズホワイトドラゴン三枚を融合しいでよブルーアイズアルティメットドラゴン・カードを一枚セットしてターンエンド」ジ
「（ドラゴン族デッキか？）俺のターン・俺は手札から・強欲な壺を発動・さらに手札からワン・フォーワンを発動・このカードは手

札のモンスターを「スト」に「デッキからレベル一モンスターを特殊召喚できる・いでよレベルスティーラー・さらにレベルスティーラーを生贊にいでよ雷帝ザボルグ」シ

「帝ビートか」パ

「帝ビート?」ジ

「簡単に言えば生贊召喚で効果を発揮するモンスター達を中心にしてビートダウン・雷帝ザボルグは生贊召喚で召喚した時・相手モンスターを一体破壊する」パ

「まさか」ジ

「そのまさか・ザボルグの効果でアルティメットドラゴンを破壊する・さらに永続魔法・強者の苦痛発動・このカードの効果でトライホーンドラゴンのレベル×100ポイント分トライホーンドラゴンの攻撃力をダウンさせる」シ

「何?俺のフェイバリットモンスターが」ジ

「行け・ザボルグ・サンダー・ナックル」シ

「くつ」ジ

LP 4000 - 400 = 3600

「カードを一枚セットしてターンエンド」シ

「俺のターン・ドロー・強欲な壺を使い・デッキからカードを一枚ドロー・さらにリバースカード・ドラゴンの恵を発動・墓地のドラゴン族が7枚・以上の時・デッキからカードを一枚ドロー・さらに

手札から・同名召喚発動・自分のデッキから・レベル四以下のモンスターを墓地に送りその同名モンスターを蘇生させる俺はウイッシュコードラゴンを墓地に送り・墓地にあるウイッシュコードラゴンを蘇生・さらに「ウイッシュコードラゴン」の効果で・ウイッシュコードラゴンを生贊にしてドラゴントークンを一体召喚・さらにマジックカード・ドラゴン・トークン・マジックカード・ドラゴン族のトークンを選択し同じ名前のトークンとして「ペーパートークン」を特殊召喚するさらに・壺の中の魔術書を発動・互いにカードを三枚引く・さらに俺は・サイクロンを使い・強者の苦痛を破壊」ジロウ・一枚のカードを持ち構える

「・三体のモンスターを生贊に」ジ

(ぐるか) パ

「何だ?・」の威圧感は??"シ

「いですよ・三幻神の一体・オベリスクの巨神兵」ジ

「三幻神だと?」シ

「これこそ試練を乗り越えた時・お前に与えられる力だ・行け・オベリスクの巨神兵・ゴッド・ハンド・クラッシュヤー」ジ

「うわ?」シ

「どうした?デュエルはまだまだ始まつたばかりだぞ」ジ

LP 40000 - 16000 = 2400

神からの試練・対天豪ジロウ前編（後書き）

次回

オベリスクの巨神兵を攻略したシン・しかし・ジロウにひとつでは本当の戦いのための準備にすぎなかつた

次回

神からの試練・対ジロウ後編

二つの神を打ち破れ

神からの試練・対天豪ジロウ後編（前書き）

神の効果は原作とタッグフォースの「いやまぜ」です

「俺はカードを一枚セットして封印の黄金櫃・発動デッキのカードを一枚除外―ターン後のスタンバイフェイズに手札に加える・ターンエンド」ジ

「俺のターン・（三幻神・確かに三幻神があれば三幻魔に対抗できるかもしない）・俺はバイスドラゴンの効果を使用してバイスドラゴンを特殊召喚・さらにマジックカード・エンペラーサモン・墓地にある帝を選択・相手フィールドに攻撃力3000以上のモンスターがあるとき・通常召喚権利とバトルフェイズの権利を破棄してフィールドのモンスターを生贊にデッキから帝を特殊召喚できる・いよいよ氷帝メビウス・カードを一枚セットしてターンエンド」シ

「俺のターン」ジ

（奴は何故？レベルステイラーの効果を使わなかつた？・・・ジロウが攻撃1600以上のモンスターをドローした場合負けだぞ・・・となると手札にバトルフェーダーかあのリバースカードか）パ

「俺のターン・マジックカード・龍の叫びを発動・墓地の一枚除外して・カードを一枚ドローする・俺はトライホーンドラゴンと・ウイッシュユードラゴンを除外してカードを一枚ドロー・サファイアドラゴンを召喚・氷帝メビウスにサファイアドラゴンで攻撃・サファイアブレス・さらにオベリスクの巨神兵でどどめ・」ジ

「かかつたトラップ発動・氷帝の息吹・このカードは氷帝メビウスをバトルで破壊されたターンバトルフェイズを強制終了にする・さらに相手モンスターの数だけ・氷像トーケンを特殊召喚・」シ

「なん……だと？・俺はこれでターンエンド」ジ

「俺のターン・天よりの宝札を発動・互いは手札を6枚になるようにカードをドローする氷像トーケンを生贊に炎帝テスラロスを召喚・テスラロスの効果・生贊召喚に成功した時・相手の手札を一枚捨てさせ・それがモンスターならそのレベル×100ダメージを相手に与える一番右を選択」シ

「当たりだ・一枚目のトライホーンドラゴンだよって800のダメージを受ける」ジ

LP 3600 - 800 = 2800

「まだまだ・炎帝の拳裁を発動・このカードはフィールドに存在する氷像トーケンと氷帝の息吹を墓地に送り前のターンメビウスを破壊したモンスターの攻撃力分アップ・サファイアドラゴンの攻撃力は1900・よって攻撃力4300・行けテスラロス・炎の鉄拳・バーニング・ラッシュ」シ

LP 2800 - 300 = 2500

「これであなたに三幻神はいないターンエンドだ」シ

「こうもあつさり・オベリスクが倒されるなんてな・俺のターン・だけど・勘違いしてないか？確かに三幻神は生贊のコストが重い・だから入れるにしても一枚が限度・だがもし三幻神が全部入ったデッキを俺達が使いこなせるとしたらどうする？」ジ

「何？」シ

「俺は・スタンバイフェイズに封印の黄金櫃に封印されていたカー

ドを手札に死者蘇生と早すぎた埋葬を使い・ウイッシュ・ショードラゴンとブルーアイズホワイトドラゴンを蘇生・ウイッシュ・ショードラゴンの効果を使い・トークンを増やす・さらに・大嵐を使い・互いのリバースカードをすべて破壊・天空の神よ・我に力を・三体のモンスターを生贊に」ジロウ・再び構える

「来るのか？天空の神が」シ

「いですよ・オシリスの天空竜」ジ

「カードをセット・行け・オシリスの天空竜・サンダーフォース」ジ
「手札のクリボーの効果を使い・このターンのダメージを一度だけ・0にする」シ

「ターンエンド」ジ

「俺のターン・・・さすが試練を与えてくれる人だ・ワクワクするぜ」シ

「照れるな・・・だがどうする・攻撃力4000のオシリスの天空竜を倒すには至難の技だぞ」ジ

「だろうね・・・だからこそ・僅かな希望を賭けてこのカードを入れたんだ」シ

「まさか・・・帝シリーズの最強モンスターを起動するための条件を整えることができるのか」パ

「できるさ・マジックカード・帝王の儀・これにより・墓地の三種

「攻撃力〇？なら・オシリスの雷電弾で破壊できるはず」ジ
「攻撃力〇？なら・オシリスの雷電弾で破壊できるはず」ジ
E・K・シ

「ハレメンタルエンペラーキングはカード効果でフィールドを離れず・さらに戦闘でも破壊されない・このカードの攻撃力は送られた帝と属性の数×600となる・行くぜ第一弾・苦渋の選択を発動・俺は・地・水・炎・風・闇のカードを選択さあ・あなたはどれを選ぶ？」シ

「闇を手札に加えてくれ」ジ

「選択されなかつたカードは墓地にこれにより・エンペラーキングの攻撃力は20000・まだまだいくぜ・魔法石の採掘を発動・手札一枚をコストに・墓地の魔法を手札に加える・俺は苦渋の選択を手札に・この際・光と闇のモンスターを墓地に送つたためエンペラー・キングの攻撃力をさらに10000上昇・さらに墓地から回収した苦渋の選択を発動・今度は地・水・炎・風・闇の帝を選択」シ

「風を加えてくれ」ジ

「それ以外のカードを墓地に送り・エンペラーキングの攻撃力を2000上昇・さらに天使の施しを使い・三枚引いて一枚捨てる・さらに風と光の帝を墓地に送つたため・さらに1000上昇」シ

「攻撃力・6000だと」ジ

「バトル・ハレメンタルエンペラーキングでオシリスの天空竜に攻

撃・エレメンタル・ハンマー」シ

「トラップ発動・ぐず鉄のかかし・攻撃を一度無効にする・残念だつたな・勝ちは決定した」ジ

「ああ・・・・・俺の勝ちだ・手札から速攻魔法・ダブル・アップ・チャンスを発動・」シ

「「はつ？・・・ダブルアップチャンス？？？」ジロウ&パラドックス

「「」のカードは攻撃を無効にされた時発動可能・攻撃力を二倍にしてもう一度攻撃できる・行け・エレメンタルエンペラーキング・エレメンタル・シユート」シ

「くつ」ジ

LP 2500 - 8000 = - 5500

「勝者・械シン・第一試練を合格と認める」パ

デュエル後

「ふつ試練を乗り越えた証だ受け取れ」ジロウはオベリスクとオシリスをシンに手渡した

「ありがとうございます」シ

オベリスクとオシリスを受けとつたあと

「試練は衝撃による被害を避けるため時間の流れがはやい空間で行う・ゆえに今は朝だ・お前の体は寝ている状態である・今我々は君の精神空間に試練を与えるためにいる・俺とのデュエルは現実世界の夜行う・」パ

「はい」シ

「起きよつと思つたら・起きれるはずだ・ではやらばだ」ジ

その後シンは十代がセブンスターズのダークネスに勝利したことを知つた

試練の空間

「まさか・君が負けるとはな・ふつ・鍛練が足りないな」パ

「ふつ・確かにな・・・だが・あいつ・強いぜ」ジ

「それは理解している・彼は必ず・俺が使うラーの翼神竜を攻略してくるだろうが・俺は負けない」パ

「相変わらず自信たつぶりだな」ジ

「当然だ・・・器と言つテツキを本氣で作った奴ほど強い奴はいな
いぜ」パ

パラドックスはラーの翼神竜を見てそつそつやっていた

神からの試練・対パラドックス（前書き）

遊戯王やD.J指摘ありがとうございます

ルールにやつた修正版はこの小説を書き終えたら書き直します

神からの試練・対パラドックス

クロノスがカミコーラに敗れた夜

「これから第一試練を始める」ジ

「デュエル」シ&パ

「俺の先行・ドロー・俺は手札一枚をコストにトラップブースターを発動・このカードによりこのターン・俺はトラップカードを直接発動できる・俺は血の代償を発動・俺は合計1500ポイントのライフを払い・イエロー・ガジェットから三色のガジェットを召喚・さらに冥界の宝札を発動してその三体を生贊にいでよ・オベリスクの巨神兵・さらに冥界の宝札の効果で一枚ドロー・手札からカードを一枚伏せてターンエンド」シ

LP40000 - 1500 = 2500

「俺のターン・俺は手札一枚をコストに罠の逆利用発動・このカードにより俺はお前のトラップカードを使うことができる・血の代償のコストでライフを1500払い・ガンナードラゴン一体とバルバロスを妥協召喚・さらに・命削りの宝札を使いカードを5枚になるようにドローする・三体のモンスターを生贊に・・・俺はラーの第一能力の覚醒のための呪文を唱える」パ

LP40000 - 1500 = 2500

「まさか・分かるのか?古代神官文字が」シ

「わかりやすいように唱えてやる・太陽神は三体の生贊を束ねてその力を得る・ただし・神を従えし者・古の呪文を天に捧げよ・いでよラーの翼神竜・さらに攻撃だ・ゴッド・ブレイズ・キャノン」パ

「トラップ発動・ゴッドハンド・オベリスクが存在している時発動可能・このカードは俺に対するダメージを0にしてさらにオベリス

クは戦闘で破壊されない・さらに「ゴッドハンドを除外し互いは六枚ドローする」シ

「ふつ・俺はカードを一枚セットセツトしてターンエンド」パ

「俺のターン・ドロー・俺はバクマンウイルス発動・このカードはこのターン特殊召喚するモンスターのもともとの攻撃力と守備力を入れ替える・さらにバニラ招集・このカードの効果で通常召喚権利を破棄して通常モンスターを9枚加える・メカハンター三枚と・ポンコツの機械兵三枚と・ビックバイパー三枚を手札に・手札の機械族を任意の枚数すて・いでよマシンナーズカノン・バクマンウイルスにより元攻撃力は2200さらに自身の効果で捨てるコストにした機械族の数×800・よつて攻撃力は9400・ラーに攻撃・・フルバースト・」シ

LP2500 - 800 = 1700

「ラーを倒すとはなかなかやるな・だが俺はその上を目指す・トラップ発動・デストロイ・ドレイン・このカードはレベル8以上のモンスターが戦闘破壊された時・破壊したモンスターの現在の攻撃力分ライフを回復する」パ

LP1700 + 9400 = 11100

「ならオベリスクでダイレクトアタック」シ

「甘い・トラップ発動バトル・リボーン・サモン・このカードはこのターン戦闘破壊されたモンスターを蘇生する・蘇れラーの翼神竜」パ

LP11100 - 1000 = 10100

「しまつた?」シ

「俺は超古代神官文字を唱える・時ひとつとして神は不死鳥となる・

選ばれし魔物は大地に眠る・ライフを1000払い・ラーをゴッドフェニックスに・オベリスクを破壊」パ

「くつ俺はカードを一枚セットしてターンarend」シ

「俺のターン・バルバロスを妥協召喚・さらにライフを千払い・不条理な予言発動・このカードは俺が宣言したカードがデッキにある場合・互いはそのカードをデッキトップにおく・お前のデッキにない場合・お前はデッキから好きなカードを手札に加える・俺が宣言するのは・死者蘇生」パ

「確かに俺のデッキには死者蘇生がある」シ

「なら互いは死者蘇生をデッキトップに置く・分かるなこの意味が・・・ラーの翼神竜は次のターン・復活する・One Turn Killの能力で攻撃力を得てな」パ

「くつ」シ

「カードを一枚セットしてターンarend・・・はやいがまもなく終局だ」パ

神からの試練対・パラドックス（前書き）

最近タッグフォースにはまるけどタッгフォース²だけ持つてないから第一章はめちゃくちゃになるかもしけない不安に陥る作者です

神からの試練対・パラドックス

「俺のターンドロー・俺はこの瞬間・バグマンウイルスの効果は消えマシンナーズカノンの攻撃力はバクマンウイルスのデメリットにより攻撃力0に・さらに手札からデビルズサンクチュアリを一枚発動・これにより・二体のトークンが生まれマシンナーズカノンと二体のトークンを生贊にオシリスを召喚・さらに冥界の宝札で一枚ドロー・カードを三枚セット天よりの宝札発動してターンエンド」シ

「俺のターンドロー・このターンがこのデュエルの勝敗を決める・死者蘇生発動・当然蘇生させるのはラーの翼神竜・第一能力を発動させるため・呪文を唱える・神は地より蘇生する・再生の術と従者の命を与えよ・時はひとつであろうとも・戦場の敵は炎によつて屍と化す・ライフを一残し・それをラーの攻撃力に変換さらにバルバロスを生贊にバルバロスのもともとの攻撃力を加算して攻撃力は13099・行け・ラーの翼神竜・ゴッドブレイズキヤノン・」パ

「この時を・・・待つていた・俺は・トラップ発動・転生交換・これにより・俺は手札をすべて捨て・カードを捨てた枚数分ドローする・さらに墮天使の施して捨てたカードを手札に戻す・さらに・リバーストラップ・リサイクル・サーチャー・これにより・墓地のカード三枚を手札に加える代わり・このターンから数えて10ターン・俺は通常召喚とドローできない・だがオシリスの攻撃力は手札が15枚のため」シ

「攻撃力・15000だと?・これでは融合解除で回避しきれない」

「行け・オシリスの天空竜・サンダー・フォース」シ

パ

「ぐわー」パ

L P 1 - 1 5 0 0 0 0 - 1 4 9 9 9

「ふつ・・・今日は油断してしまったな・・・受け取れ・ラーの翼
神竜だ」パ

「ありがとうございます」シ

「あつそつだ・・カミコーラを倒した後・面白いことが起きるぞ」ジ

「面白いこと?なんですか?」シ

「あとでお楽しみだ・じゃあな」パ

シンは自分の部屋で目覚めると速攻に十代が飛び込んで来てカイザ
ーが敗北したことを探り・翔からサイバーシリーズを返却された

カミューラ対シン（前書き）

自分はオリカのセンスないな

カミューラ対シン

・・・亮が敗北した

クロノスが敗れた時・警告として幻魔の扉対策にカウンタートラップを渡したが亮はくだらないプライド・俺にリスペクトデュエルの素晴らしさを見せるために使わなかつた

俺は以前亮のやり方を否定した
だが自業自得とは思わない・

かつて亮が俺に託した・サイバーデッキのレシピを俺流にアレンジした

神はまだ使えない

ならば俺はこのデッキを使つさ

かつて転生前の俺が使つていたカオスサイバーを

「カミューラ・・・勝負だ」シ

「いいわよ・そのかわり・あんたが負けたら・あんたが人形に」カ

「お前が負けたら・セブンスターのとある男の情報の引き換えと
クロノス先生とクソ弟・弟子の亮をもとに戻してもらう」シ

「いいわよ・・・それにしても・この人形とは兄弟弟子でしょう?」
力

「幻魔の扉のようなカードが警告しておいたのに・そいつは勝利を捨てた大馬鹿野郎さ・・・素直にサイバー・レーザーの効果を使って攻撃すれば自分も弟も助かつたのによ」シ

「あら詳しいのね・・確かにそのとおりよ・あの時はヒヤヒヤしたわ・まさか・あんな嘘に騙されるなんて・あなたに嘘は通じないそうね・・・あの男が注目してるとから・楽しみね」力

「そんな・お兄さんは嘘に騙されて」翔

「卑怯だぞカミコーラ」十

「外野は黙つてろ・始めるか」シ

「ええ」力

「「デュエル」」カミコーラ&シン

「俺の先行・手札から暗黒の封磁器を発動・このカードは発動後墓地に送られ・墓地に存在する間・相手の魔法・トラップの発動に対して手札から一枚捨ててその効果を無効にして破壊する・俺はサイバー・ワイバーンを守備表示で召喚・このカードは召喚に成功した時・次の相手ターン・デッキからサイバードラゴンを手札に加える・カードを一枚セットしてターンエンド」シ

「私のターンドロー・私は手札を一枚捨ててマジックカード・吸血

鬼の恐怖を発動・このカードは相手に500ダメージを与えてデッキからアンデット族モンスターを次の私のスタンバイフェイズに墓地に存在するこのカードを除外して手札に加える・私はアンデットサモナー・アンデットサモナーを墓地に送り・さらに通常召喚権利を破棄して墓地のヴァンパイア・ロードを蘇生・行け・ヴァンパイア・ロード・ヴァンパイア・アタック「カミューラ

「リバースカード発動・サイバー・コール・俺はサイバーワイバーンを攻撃表示にするかわり・デッキからサイバーと名のついたモンスターを一枚手札に加える・さらにダメージを受ける時・カードブロッカ・これによりダメージを0にしてカードを一枚ドローする」シ

「なんですか？私はカードを一枚セットしてターンエンド」力

「俺のターンドロー・俺は大嵐を発動・これにより互いの魔法・トラップゾーンにあるカードをすべて破壊・さらに融合発動・手札のサイバーケルベロスとサイバー・ブレイク・さらに天よりの宝札を使い互いは手札を6枚になるようにカードをドローする・パワー・ボンドを発動・サイバードラゴン三枚を融合いでよサイバーエンドドラゴン・サイバービーストブレイクの効果でサイバー・エンドにこのカードを装備・行け・オールエボリューションエターナルバースト」シ

「この瞬間バトルフェーダーの効果発動バトルフェイズを終了させこのカードを特殊召喚する」力

「無駄だ・サイバービーストブレイクの効果・このカードを装備しているモンスターが攻撃するとき相手は手札にあるカードの効果を使用できない」シ

「そんな・・・」力

LP 40000 - 60000 = - 2000

「さて・・・お前はまもなく自分で仕掛けた闇のゲームの罰を受けるわけだが・・・約束通り・情報をよこせ」シ

「わかつたわ・・・あの男は・セブンスターズ副リーダー・そして・あのお方に新カードの情報を流した張本人でかつてインダストリアルイリュージョン社にいた・・・罪殺・バリラよ・・・ここでお別れね・・・せいぜい・意氣がつてなさい・きやはは」力

その後・カミューラの城は崩れ・俺達はセブンスターズから鍵を二つ奪われた

次の日

「あー皆さん・今日は授業を始める前に・今日からここで働く・先生を紹介するノーネ」ク

「はじめまして・作者・パラドックスです・担当は実技です」パ

「はじめまして・天豪ジロウです・担当科目は理系です」ジ

回りが騒ぎ始めるがシンは

「ウソダシンドローラン」シ

そうゆう「シン」の悲しき叫び声がアカデミア全体に響き渡つたとゆう

？タニヤ&ザルーグ？・あの一人の前では全て無力♪ソシン

「であるからにして・この物理的法則がありえると発見されました」
ジ

「んにちは・シンです

試練の相手だったパラドックスさんとジロウさんがアカデニア教師として赴任して一週間経ちました

一週間の間しばかれました

あの一人がいればセブンスターズに三幻魔の封印を解き放たれることはないんじやね

そう思つてるとセブンスターズより挑戦状が来ました

タニヤかそう思つてたらタニヤだけではなく黒蠍までいました

どうやらセブンスターズのリーダーがカミユーラが負けたことに腹をたてたらしく・姑息な手段を使えといい・チートカードを渡したようですね

タッグデュエルを望んでいたのでタッグデュエルでデュエルすることになりました

「誰が出る？」「十

「俺だ」万丈目&二沢

「待て・今日は俺達がやろう」ジ

「先生が・・・そういうや先生のデュエルまだ見てねえや・楽しみだ
ぜ」十代・目をキラキラさせながら

「つたく仕方ないなジロウ・今日は攻める?守る?」パ

「守るで」ジ

「分かっただよ・とゆうわけでドン・ザ・ルークとタニヤ・ウォーミングアップとして俺達が相手だ」パ

「ウォーミングアップだと?舐められたものだ・」タ

「ならば・行くぞ・」ザ

「デュエル」パラドックス&ジロウ&ザルーク&タニヤ
順番はザルーカ ジロウ タニヤ パラドックスです

「俺の先行・俺は俺自身・ドンザルークを召喚・カードを一枚セットしてターンエンド」ザ

「俺のターン・古のルール発動・これによりトライホーンドラゴン
を特殊召喚・カードを一枚セットしてターンエンド」ジ

「私のターン・手札からアマゾネスの集団ののろしを発動・このターン・アマゾネスとのついたモンスターを通常召喚に加え一回召喚できるさらにもう一度同じカードを使い・アマゾネスの吹き矢兵一体召喚・さらに手札からアマゾネスの聖戦士を召喚・さらに手札

から天よりの宝札を使い互いのプレイヤーは手札を6枚になるようにカードをドローする・さらに私は吹きアマゾネスの矢兵とアマゾネスの聖戦士を召喚・カードを一枚セットしてターンエンド「タ

「俺のターン・俺は・カードを4枚セットして・バルバロスを妥協召喚・ターンエンド」パ

「俺のターン・黒蠍団召集発動・これにより・チック・ゴーグ・クリフ・ミーネを手札より特殊召喚・影武者黒蠍により・タニヤのモンスターに首領・ザルーカ・黒蠍・罠はずしのクリフ・黒蠍・逃げ足のチック・黒蠍・強力のゴーグ・黒蠍・棘のミーネ扱いとして・さらにリバースカード必殺! 黒蠍コンビネーションを発動・これにより黒蠍は全員ダイレクトアタック可能・さらに念には念を込めてアマゾネスの吹き矢兵三体の効果をトライホーンドラゴンを対象に発動・攻撃力を合計・1500ダウン・行け・やろつども」ザ

「必殺・黒蠍・コンビネーション」モンスター達

「甘い・スピリットバリア発動・俺達のフィールドにモンスターが存在するため・俺達への戦闘ダメージは0だ」パ

「ヒヤヒヤしたぜ・さすがパラドックス」ジ

「だが・それならモンスターを0にするまで・俺でトライホーンドラゴンを攻撃」ザ

「トライホーンドラゴン? ?」ジ

「慌てるな・リバースカード・進化の奇跡を・俺はバルバロスを生贊に発動・トライホーンドラゴンは今・進化する・行け・ジロウ」パ

「ああ・時・主を守るため・炎の力で進化した姿で現れよ・いでよ・
トライホーンドラゴン・マグナ・ブレイズ」ジ

「攻撃力・3800だと」タ

「く・俺はターンエンドだ」ザ

「俺のターン・俺は死者蘇生を使い・パラドックスのバルバロスを蘇生・さらにライトニングボルテックスを使い・お前達のモンスターを全て破壊・さらにトライホーンドラゴン・マグナブレイズの効果発動・手札のモンスターとレベル8のバルバロスを弾丸として墓地に送り・に相手のリバースカードを全て破壊」ジ

「何?」ザルーキ&タニヤ

「俺はその効果にチューインして死の弾丸を発動・このターン・効果で破壊されたカード一枚につき100ダメージだ」パ

LP40000-13000=2700

「さあ・派手に決めるか」パ

「ああ・トライホーンドラゴンマグナブレイズ・トライホーンブレス」ジ

「ぐわー」ザルーキ&タニヤ

LP2700-38000=-1100

「くそ・・・俺達の負けだ・おとなしく帰るぜ」ザ

「私は婿探しの旅を続けよう」タ

「はあ」シ

「元気でな」パ

「いい婿さん見つけろよ」ジ

「ああ」タ

?ターニヤ&ザルーグ?・あの一人の前では全て無力b ミシン（後書き）

その後

パラドックスの部屋

「ああて・・今日のデュエルの復習だ・・??」パ

「ゴメン・パラドックス許して・」ジ

「お前は相変わらず・デュエルで人頼りすぎ????・もつと技術をあげろ・この転生する直前まで初心者だった男が・伏せカードが・オプションハンター??ふざけんな・凡庸性の高いカードをいれろ・今日は徹夜だ??」パラ

「NOOOOOON」ジ

アンチはやだな（笑）

「さて・！」の状況をビリヤって攻略する・・丸藤翔「パ

シンです

もうすぐ学園祭になるのですがレッドはともかくイエローの実力が低いと言つ出したパラドックスにより現在修羅場です

ただ十代が十回中十回チートドローで機械を狂わせたため現在はレッドは十代とゆづ希望にすがっています

現在翔が解いてる詰めデュエルは

なんとかエクゾディアを揃えることが必須条件で

翔はミスで生還の宝札を発動し忘れたため現在パラドックスさんの怒りをかっています

とすると

「大変ナーネ・アドビス三世と名乗る男に・シーヨール三沢とシニヨーラ明日香が敗北したノーネ」ク

ありがとうセブンスターズ・君の乱入で翔は救われたよ

と田的の場所に向かおうとしたところパラドックスさんに呼び止められ十代が相手してくると言つた

「なんですか？」シ

「……」ひそり海馬コーポレーションの「デュエル記録」を見た結果。
・今回アドビス三世はアンテックシンクロを使つていることが判明
した」バ

「なんだつて……まさか」シ

「お前の追う謎の男の影響だろ？・それともつーつ・お前は気がつ
いてないみたいだが・昨日からお前を監視する気配がいるぞ」バ

「ほつ・気配を隠したつもりだったがまあいい」？

男が姿を現す

「罪殺バリラ」シ

「さあデュエルだ」バ

「！」の異様な空間・ふつしん例のデッキを使え・この空間は邪魔は
されないし誰にも見えない」バ

「解りました」シ

「デュエル」シン&バリラ

「俺の先行・クリッターを守備表示で召喚・さらにカードを一枚セ
ットしてターンエンド」シ

「俺のターン・ハリケーン発動」バ

「アンチSINをナメるなリバースカード死のデッキ破壊ウイルスをチーン発動クリッターを生贊に相手の手札の攻撃力1500以上のモンスターを全て墓地に送る・さらに3ターンの間お前のドローカードを確認してそれが攻撃力1500以上なら確認したカードを墓地に送る」シ

「何?」バ

「SINレッドアイズに・SINデーモンの呪喚・さらにはSINブルーアイズまで抱えているなんて・そのカードを墓地に送れ・さらには俺はクリッターの効果でバトルフェーダーを手札に」シ

「俺はSINワールド発動・さらにマジックカード・SINサンクチュアリを発動・墓地のSINモンスターを蘇生する・蘇れSINブルーアイズでダイレクトアタック」バ

「甘い・戻されたトラップ発動・希望の光・ダイレクトアタック宣言時・戻されたこのカードを除外してデッキからレベル二以下のモンスターを特殊召喚・いでよ聖なるあかり・このカードが存在する限り・闇属性モンスターは攻撃できず・お互いは闇属性モンスターを召喚・特殊召喚できない」シ

「何?これでターンエンド」バ

「俺のターン・俺は地割れを発動してSINブルーアイズを破壊さらに・聖なるあかりを生贊にドロランダ召喚・さらに強欲な壺を発動・デッキからカードを一枚ドロー・二重召喚を使いヤタガラスを召喚・ヤタガラスでダイレクト・これでお前はドローできないしかもドロランダは相手がドロー出来ないターンが十ターン続いた時・

俺の勝利が確定する・お前の手札は○のためこの繰り返しで終わりだ」シ

「嘘だ・・・ウソダーバ

特殊勝利で勝利したためバリラは消え・奪われたSINEモンスターを取り返すことに成功した

ただ

「今日のデュエルは80点だ」パ

この人にアンチテックを使わなきゃ怒られるところだ

この人はマジで怖い

優しいけど怖い

後日吹雪さんの記憶も戻り大徳寺先生が消えたことを知りつつも俺はパラドックスさん主催の大会を手伝つことになつたその大会はなんと

転生者によるデュエル大会

学園祭で何が起つんだ?

学園祭前編・転生者デュエル大会・?ヨハンを慕う少女（前書き）

ネーミングセンスないな？

学園祭前編・転生者デュエル大会・？ヨハンを慕う少女

「転生者デュエル大会？」シ

「ああ・どうもこの学園には転生者が入学希望者が多くいてな・学園祭の裏側にこれた人だけが参加できるのが転生者デュエル大会・俺達は名前で転生者がわかるから招待状を出した」ジ

「でも・・OKもったのですか？」シ

「大丈夫だ・鮫島校長には・試したい客がいるといったら普通にOKもったぞ」パ

「一応返事が来たのは五人だがな」ジ

なんやかんやで図書室を借りた（図書室は防音性が高いのだ）

そして学園祭当日

そこには手紙で返事をした五人の転生者がいた

「やあみんな今回・この大会を企画した天豪ジロウと」ジ

「作者・パラドックスだ・今回は俺達の特別権限を使い・デュエルで素晴らしいショーを見せた者には・入学の権利を与えてあげよう・ルールは簡単・カードを引いて一人でレベルが10になるように戦相手を見つける・勝利したら・今度は時間的に早く勝利した者が対戦相手を自由に決められる・この繰り返しで優勝したら文句なしの入学・よりも多くのパフォーマンスを見せるにはデュエルに勝つし

かない・では試合は11時から開始する「パ

「俺はレベル4か」シ

「私・・・レベル6・・・です」?

「俺の名前は械シン・君の名前は?」シ

「私・・・名前・・・茶等梨・フコアです」フ

「11時だ・・・デュエルを始める」パ

「「デュエル」」フコア&シン

「私のターン・・・苦渋の選択・デッキからホワイトパヒヨン三枚とローズパヒヨン一枚を選択」フ

「俺はローズパヒヨンを選択・選ばれたローズパヒヨン以外のカードは墓地に送つてもらひ」シ

「私は天使の施し・・三枚引いて一枚捨てる・一時休戦を発動・互いはカードをドローして次のターンまでダメージを受けない・カードを一枚セットしてターンエンド」フ

「俺のターン・俺はカードを一枚セットして・もう1回リバースモンスターをセットしてターンエンド」シ

「私のターン・サイクロンで右のリバースを破壊・さらに死者蘇生を発動・ローズパヒヨンを蘇生・さらに速攻魔法・昆虫の交配・レ

ベル4以下の昆虫を特殊召喚した時・墓地とデッキから同名の昆虫を特殊召喚・これで三体のローズパヒヨンが揃つた・ローズパヒヨンは自分フィールドに（ローズパヒヨン）以外の昆虫が存在する時・ダイレクトアタックできる・レディ・カブトを守備表示で召喚・ローズパヒヨン三体でダイレクトアタック」フ

「手札のバトルフェーダーの効果発動・ダイレクトアタック宣言に對して・このモンスターを特殊召喚することでバトルフェイズを終了する」シ

「無駄・天罰発動・手札一枚を捨て・相手モンスターの効果を無効にして破壊する」フ

「ちょ・・・マジかよ」シ

LP4000-4200=-200

「漫画版ヨハンデッキか」パ

「漫画版ヨハンデッキ?」ジ

「この世界のヨハンは宝玉獣とゆうカテーテゴリーを使つが漫画版ヨハンは昆虫を使つ・・それにしても・初めて見たぞ・昆虫でワントーンでライフを削りとるの・しかもオーバーキル」パ

周りから俺も・私もとゆう声が聞こえてくる

「君なら文句は言われないだろ・入学の権利を取れるよ」パ

「あ・・・ありがと・・・」
「わいります・・・私ヨハンさんが好きで作りました」フ

「さて・・・シン・・・貴様には今回は学園祭だからテュエルの補習は免除してやるが・・罰として今から全員分のジユースと食い物持つてこい・現役生のプライドぐらい持て」パ

「はい・・・」シン

イエロー寮

「三沢・タコ焼きフリーズ」シ

「あつああ」三

「私もください」?

「・・・・んつ・・・・またか」の声・・・シ

「お兄ちゃん」?

「ヒナタ・・・どうして」シ

「連れてきてもらったのスバルさんに」ヒ

「久しぶりだな・・・スバル?」シ

「久しぶりだな・・・スバル?」シ

学園祭後編・ヒロイン春風スバルとの再開（前書き）

今日はテュエルなし

学園祭後編・ヒロイン春風スバルとの再開

春風スバル

彼女は初めて俺が初めてあった・・転生者だった

彼女は宇宙に興味があるらしく本来は仮面ライダーフォーゼの世界に転生することを望んだ

しかし後に分かつたことだが大ショックカーによる魔の手が伸びていって一度フォーゼの世界は滅びたらしい

いくら転生者といえども世界の再構築のさいイレギュラーとして扱われるため復活することはない

それを警告され彼女はネオスペーシアンとゆうカテゴリーに興味を持ちなおかつ彼女が知っている範囲内で転生したのがこの遊戯王GXの世界

彼女とはお互い転生前はどうだったのかなど話をしていくデュエルもした

ペガサスミニオンとなりしばらく妹の面倒を見ててくれたのも彼女だ

つとゆうわけで彼女には頭が上がらない状況である

「私も来年から編入するんだ」ス

「へえ・来年度はかなり楽しくなりそうだな・・・そうだ・今転生

者デュエル大会をやつてゐるけどやるかい？」シ

「面白そう・私も参加していい？」ヒ
ちなみにヒナタも転生者の存在を感知出来る神の世界からの使者である

その後俺達は学園祭を楽しんだ

五人は見事入学の権利をゲット

ただ五人に負けたジロウさんがパラドックスさんにこつてり絞られたのは言つまでもない

夜

「やはり来ていたか・・・我が友・安道打空」パ

「・・・受け取れ」打

「これは・・・邪神ドレッドルートに・邪神アバター・・・なぜだ?
?・まだ光の結社は動いていないはず」パ

「悪いが・占いの結果と情報で・・水面下にさいおうが動いてる
とが・判明した・・来年度は俺も赴任するが・・警戒したほうがい
い・・それと最悪なことにユベルが盗まれた」打

「結局はシナリオは最悪な方向に向かつてることか」パ

「保険の第一プロジェクトはお前の判断で作動する・・さらばだ」打

「保険を作つとくか」

三幻魔の復活？アンチは老人の精神を追い詰めます（前書き）

三幻神を入れた意味は？？

答はこれから的话でわかるように書いていきます

三幻魔の復活？アンチは老人の精神を追い詰めます

さて

十代が余裕のよつちやんと大徳寺先生を倒したところ

一時的にアカデミアには平和が訪れていた

ただ

万丈目の馬鹿が問題を起こしたため

万丈目はパラドックスさんのフルボッコにされています

「狂戦士の魂発動・ドローモンスター・ドローモンスター・ドローモンスター・ドローモンスター・ドローモンスター・ドローモンスター・ドローモンスター・ドローモンスター C
「ヨ」パ

もひやめて万丈目のライフはもひよ

「さて・・・パラドックスの予想じゃ・三幻魔の封印が解かれているはず」ジ

ジロウさん・・・あんたいたつて冷静だな・普段からやられてる側だから気分がいいのか？

とすると影丸理事長がすでに三幻魔を奪つており

説明は原作と同じなので省く

ただウサ晴らしが足らないパラドックスさんは十代とデュエルさせるまで・・・そしてデッキの情報を知らないため無理矢理ジロウさん・パラドックスさん・俺とひみつ布陣が出来ていた

パラドックスさん・・・ガチでストレス発散か？

それともラーもどきを倒すためか？

どちらとも言えないがまずはジロウさんから

「わしの先行・ドロー・トラップ三枚を生贊に神炎皇ウリア特殊召喚・カードを一枚セットしてターンエンド」影

周りには

いきなり攻撃3000？などが聞こえてきたが

ジロウさんは落ち着いていた

まさか

「俺のターンドロー・まずは大嵐を発動・互いのフィールドの魔法トラップをすべて破壊・さらに魂の解放・理事長の墓地のトラップをすべて除外」ジ

「なんだと・これではウリアの攻撃力は0だ」影

「さらばカードを二枚セットしてターンエンド」ジ

「わしのターンドロー・天よりの宝札に発動・さらに手札抹殺発動・これでウリアの攻撃力は3000だ」影

「手札抹殺にチーン発動・マクロコスモス・このカードがある限り墓地に送られるカードはすべて除外される」ジ

「なんだと」影

ああもう理事長の顔が絶望したホセになってるよ

サイクロンや砂塵の大竜巻入ってないのかな

「カードを一枚セットしてウリアの効果でセットカードを破壊してウリアを守備表示にターンエンド」影

「俺のターン・手札から封印の黄金櫃を発動・ネクロフェイスを除外・さらにネクロフェイスの効果で互いはデッキの上からカードを5枚除外・闇の誘惑一枚発動・ネクロフェイスを一枚除外して4枚ドロー・プラス十枚除外・さらにハリケーンを使い理事長のリバースカードを手札に戻す・さらにバイスドラゴンを特殊召喚してバイスドラゴンを生贊にホムンクルス召喚・ホムンクルスの攻撃力は除外されている俺のカード一枚につき300アップする・俺の除外されているカードは29枚よつて攻撃力・8700アップ・さらにメテオストライクを装備して攻撃」ジ

「馬鹿な〜」影

LP4000-10200-6200

「よくやった」パ

「だがまだ私には幻魔が一枚あるぞ」影

「あつそ・わつそと始めよつぜ・」パ

「デュエル」パ&影

二幻魔の復活?二連戦は老人の精神を追い詰めます・その2

「俺の先行・ホルスの黒炎竜・レベル4と手札一枚をコストにマジックカード・レベルエボリューションによりいでよホルスの黒炎竜レベル6・さらにレベルアップを使いホルスのレベルを8に・天よりの宝札発動・これにより互いは手札を6枚になるようドローする・さらにカードを一枚セットしてターンエンド」パ

「私のターン・魔法カード三枚を生贊にいでよ降雷皇ハモン・ハモンでホルスを攻撃」影

「リバースカード発動・次元幽閉・攻撃モンスターを除外する」パ

「ウソダンドゴドーン」影

ああ・今度はプラシドの絶望した顔だよ

まさかのイリアステルの三皇帝の先祖?

「カードを一枚セットしてターンエンド」影

おそれぐラフオだろうな

だがあの男は一步上を行く

「俺のターン・リバースカード発動・王宮のお触れ・さらに強欲な壺を使い一枚ドロー・バルバロスを召喚して一体でとどめ」パ

「だが私には最強の幻魔があるぞ」影

「理事長やめて」明

「老人には」の三人の連戦は応えます」鮫

「老後を楽しく」ク

どうやら・俺達のデュエルに恐怖したため影丸を助ける案が出てる
らしいが

妹に手を出そうとした相手に俺が許すと思つか

（神の許可を得て極悪チートドロー』『えたから三幻神なんて使わず
にキメラティックのオーバーキルで絶望させてやれ）パ

（了解？）シ

「諦めきれるかこんなことで」影

「絶望するがいい」シ

「デュエル」影丸＆シン

二幻魔の復活?二連戦は老人の精神を追い詰めますその3（前書き）

えげつない?

二幻魔の復活？二連戦は老人の精神を追い詰めますその3

「私の先行ドロー・デビルズサンクチュアリを三枚発動・三体のデビルズトークンを生贊にラビエルを召喚・さらにカードをセットし・ジャイアントオークを召喚ターンエンド」影

「絶望するがいい・俺のターン・未来融合フューチャーフュージョンでキメラティックオーバードラゴンを選択・デッキにある50枚の機械族を墓地に送り二ターン後の未来に召喚する・サイクロロンでリバースカードを破壊・さらにハーフシャットで貴様のラビエルを選択・ラビエルは戦闘で破壊されない能力を得る変わり・攻撃力が半分になる・さらに天よりの宝札を使い互いは6枚になるようにドローする・さらにパワー・ボンド・それにチーンしてサイバネティックフュージョンサポートを発動・墓地の機械族50枚を除外しいでよ攻撃力4000000のキメラティックオーバードラゴン・さらにパワー・ボンドにより攻撃力は8000000・さらにリミッター解除発動で16000000・さらにライフを半分払い・魔法カードパワーロストでラビエルの攻撃力を0に」シ

「あわわわわ」ク

「これがシンの本氣」+

「やめろ・やめてくれ」影

「キメラティックオーバードラゴンの50回攻撃・」シ

LP 40000 - 8000000000 = - 79996000

その後影丸は病院に搬送され無事に二幻魔事件は終息した

推薦を勝ち取れ・タッグデュエル・ジロウ&隼人？クロノス&パラドックス・前

三幻魔事件が終息して一週間がたつた

俺の問題のオーバーキルは吹雪さんに事情を話したら理解してもら
い・・みんなと和解した

吹雪さんは俺を弁護したことでパラドックスさんからの罰は軽い試
験で済んだが

万丈目は次の日を休んだどうやら影丸が搬送された後パラドックス
さんにこつてりと絞られすっかりトラウマになつたらしい

そんななか前田隼人が呼ばれ俺は仲介役として彼の推薦に問題がな
いかチェックして問題がないと判断したが原作通りクロノス先生が
デュエルを持ち掛けた
このまま推薦されるんだろうなと思つたら

「タッグデュエルで実力を証明しろ」パ

とパラドックスさんの鶴の一聲で隼人はジロウさんとタッグを組む
ことに

その夜俺はジロウさんに呼ばれ事情を聞いた

「えつもつ斎王が動いているんですか？」シ

「ああ・結構やばい状況だからこのデュエルで俺が前田隼人君をサ
ポートできれば極秘プロジェクトに参加させると言つた」ジ

「出来るんですか？？？あの人は本氣で倒しにかかりますよ」シ

「分からん・けどやるしかないだろ」ジ

そんな話をした次の日

デュエルが始まった

「俺の先行ドロー・俺は手札のマシンナーズ・フォートレスとアンティーグリアを墓地に送り・フォートレスを特殊召喚カードを一枚セットしてターンエンド」パ

「俺のターン・手札からモンスターをセット・さらにカードを一枚セットしてターンエンド」ジ

「私のターンドロー・私はレベルチェンジャーを発動・マシンナーズフォートレスのレベルを一上げまスー・さらに機械共闘・手札にフィールドと同レベルモンスターが存在する時そのモンスターを通常召喚出来ルーノ・いでよアンティーグリアゴーレム・カードを一枚セットしてターンエンドナーネ」ク

「俺のターン・ドロー・永続魔法・コアラ・コーラス・コアラと名のついたモンスターが反転召喚するたびに200・ダメージ・俺はモンスターをセット・さらに一重召喚でモンスターをセット・さらに強欲な壺発動・デッキから一枚ドロー・さらにリバースカードを一枚セットして天よりの宝札・さらに太陽の書を発動・セットモンスターはデスコアラ・パラドックス先生に2400のダメージとコアラコーラスで200ダメージ・再び太陽の書を使い・こっちもまたデスコアラ・パラドックス先生に合計・2600ダメージだ(パ

「ラドックス先生を倒せば勝機はある）」隼

「残念デスー・ト・ラップカード・ダメージ移行・このカードは三回目の効果ダメージ発生時発動・このカードはダメージを0にするノーネ」ク

「まだまだ・コアラ「ラスはコアラが一回反転召喚した時・もう一度通常召喚できるんだなデスコアラ一体を生贊にビッグコアラを召喚・カードを一枚セットしてターンエンド」隼

「俺のターン・ドロー・手札のサイバー・エルタニアンを三枚墓地に送りモンタージュドラゴンを特殊召喚モンタージュドラゴンは墓地に送ったモンスターのレベルの合計・×300となるよつて攻撃力9000・いけモンタージュドラゴン・ビッグコアラに攻撃・」パ

「ダメージは受けさせない・ガードブロック発動・ダメージを0にしてカード一枚ドロー」ジ

「ありがとうございます」隼

「礼を言つてゐる場合か?・まだマシンナーズフォートレスの攻撃が残つてゐぞ」ジ

「その通りだジロウ・マシンナーズフォートレスで前田隼人にダイレクトアタック」パ

「トラップ発動・身代わりバトル・モンスターが戦闘で破壊された後・相手モンスターの戦闘対象を別のモンスターとバトルさせる・ただし発生ダメージは0になる」隼

「やるな・・カードを一枚セットしてターンエンド」パ

「俺のターン俺はバルバロスを妥協召喚・さらにバグロード発動・互いは自分フィールドのモンスターを選択して同レベルモンスターを特殊召喚する・俺はトライホーンドラゴンを特殊召喚」ジ

「俺の場にモンスターはいるが手札がないため召喚不可だ」パ

「なら私シーはアンティーグギアゴーレムを選択してアンティーグギアガジェルドラゴンを手札から召喚・」ク

（ヒ）からが正念場だ）

推薦を勝ち取れ・タッグデュエル・ジロウ&隼人?クロノス&パラドックス後継

「俺はバルバロスでモンタージュドラゴンに攻撃・速攻魔法・ロストスキルでバトルするモンスターの効果を無効にする・さらにバルバロスは元の攻撃力に戻る」ジ

「ならば私はトラップカード・命の平等を発動・互いのライフを合計値割る4としまスー」ク

全員のライフは3350となる

パラドックス LP 350

「なら・速攻魔法突進を発動してトライホーンを強化。トライホーンドラゴンでパラドックスにとどめ」ジ

LP 350 - 1000 = - 750

「果たしてあなたたちに私のアンティークギア達を倒せますか?」ク

「トラップ発動・進化の奇跡・バルバロスを生贊にトライホーンドラゴンを進化させる・夢のために種を花に咲かせる竜よ・今この時のために・かけがいのない少年の未来を救うため・現れる・トライホーンドラゴン・ガイア・ラグナ」ジ

「これが大地の力を得たトライホーンドラゴン」シ

「行け・トライホーンドラゴングランドレイジ・大地の雄叫び・フ

オレストブレス」ジ

「マンマ//ーヤ」ク

LP3350・800=2550

「カードを一枚セットしてターンエンド」ジ

「私のターン・ドロー・手札より融合発動・このカードを見せる時
が来るのは思わなかつたノーネ・フィールドのアンティーグアゴ
・レムとアンティーグア一枚を融合・いでよ古代の機械究極巨人・
さらにユニオンモンスター・フュージョン・サポーターを召喚して古代
の機械究極巨人に装備・このカードは装備モンスターの融合素材を
墓地から取り除くことで・効果破壊を無効にするノーネ・私はリミ
ッター解除を発動・これにより・古代の機械究極巨人は攻撃力88
00・さらにサイクロンを発動・ジロウ先生のリバースカードを破
壊」ク

「チエーン発動・死しても残すもの・俺はこのターン古代の機械究
極巨人の攻撃対象を俺にする代わり・俺の場のトライホーン・ドラゴ
ンガイアラグナとリバースカード一枚を隼人君の場に移行させる」ジ

「先生」隼

「後は君自信の手で未来を切り開くんだ」ジ

「ならば死しても残すものの効果で強制攻撃対象となつたジロウ先
生に攻撃ナノーネ」ク

LP3350・8800=5450

「さらにフュージョンサポートーの効果で私はアンティークギアガジェルドラゴンを除外してリミッター解除のデメリットを回避ターソンエンドナーネ（シニヨール隼人・ジロウ先生はあなたに勝利のピースを託したと思うナーネ・あとはあなたが背負わなかつた物に目を向ける時ナーネ）」ク

（トライホーンドラゴンガイアラグナには・強力なモンスター効果があり・それに気づけばこのデュエルを終わらせる可能性を秘めている・さあ今こそ羽ばたけ前田隼人）ジ

「俺のターン（エアーズロックサンライズ・・デュエルの道をあきらめる代わりにオーストラリア旅行を許されて・・エアーズロックの上でデッキを捨てれば・デュエルの道に関わりを持たないようになした・・けど俺はエアーズロックサンライズを見て・そして様々デュエルで感じたこと・俺やっぱりデュエル好きなんだな・俺を信じてカードを託したジロウ先生のためにも・これから作る未来のためにも俺はこのカードで道を切り開く）・エアーズロックサンライズ発動・この効果により墓地のビッグコアラを復活・さらに墓地の獣族×100相手モンスターの攻撃力を下げる・さらにジロウ先生が託したりバースカード・結束する魂・このカードはこのターンモンスターを初めて特殊召喚する時自分フィールドのモンスターに特殊召喚したモンスターの攻撃力をプラスする・融合発動・デスカンガルーとフィールドのビッグコアラを融合いでよマスターオブOZ・結束する魂によりトライホーンドラゴンガイアラグナの攻撃力にマスターオブOZの攻撃力をプラスする・さらにトライホーンドラゴンガイアラグナの効果発動・このカードは攻撃力がアップした時・相手モンスターの攻撃力を半分にする」隼人

「ナンデスと」ク

「よし・」ジ

「トライホーンドラゴンガイアラグナで古代の機械究極巨人を攻撃」
隼

「トラップ発動・スピリットバリア・自分フィールドにモンスター
が存在する時ダメージを0にする・さらに古代の機械究極巨人の効
果でアンティークギアゴーレムを特殊召喚」ク

「ONで攻撃」隼

「惜しかつたノーネ」ク

「いえこれで終わりです・融合解除発動・マスター オブONを融合
デッキに戻して墓地のビッグコアラとテスカンガルーをフィールド
に召喚して二体で攻撃とじめだ」隼

L P 3 3 5 0 - 4 2 0 0 = - 8 5 0

推薦を勝ち取れ・タッグデュエル・ジロウ&隼人?クロノス&バラドックス後継

デュエル後

見事前田隼人は推薦を勝ち取った

「まさかあの少年をここまで成長させるとは認めてやるよ」パ

「全くお前はこうなることを見越していたんだろ・策士としてスクリ高すぎ」ジ

「さあな・とりあえず受け取れ」パ

「邪神ドレッドルート?まさか」ジ

「ああ安道が警告しにきた・もつすぐこの学園で戦いが起ころぞ・・・
壮絶な戦いがな」パ

「まつ期待通りになるように努力するぞ」ジ

「頼んだぞ」パ

勝利への渴望？

「サイバーエンドドラゴンのカウンターアタック」シ

あの時俺はなんて愚かなことをしたんだろう

オネスト・・・藤原が気に入っていたフェイバリットカード

あのカードを持つてないとシンさんは言つたか？

あのカードのおかげで藤原とのタッグでは窮地を救われることが多かつた

なのに俺は用心せず敗北した

・・・十代とのデュエルを始めるまえに・・・サイバーダークを使わない・本気のシンさんの本気デッキと戦いたい

Side亮アウト

「さて・・・三幻魔の時は俺達が調子のつて使えなかつた三幻神だが・・・使い方をマスターするまで扱いてやる」パ

「その前にパラドックス質問だ」ジ

「なんだ？」パ

「ナポレオンはウザいとは本当か？・しかもレッド寮を潰そつとすことは本当か？・俺・一応レッド寮長で出世するから心配でや」ジ

「ああ・・・最悪の場合・邪神を使つか海馬に齎してもひつ」パ

「あのパラドックスさん」シ

「なんだ?」パ

「亮に呼ばれましたんで・今日はお開き」「シン・速攻で部屋を出る

「カイザーが何の用だ?」ジ

「まさかとは思つが・・・ジロウ・シンを追つぞ」パ

「心当たりは?」ジ

「ちょっとだがある」パ

港

「何の用だ?カイザー」シ

「・・・俺と『デュエルだ・カオス』で」亮

「いいだろ?・・・今のお前にはこのカオスが相応しい」シ

「デュエル」シン&亮

「ヘルカイザー?・あの丸藤亮が地獄を見るといふことか」ジ

「ああ・・・原作ではプロ『デュエルリスト・エド・フュニッシュ』に敗北したのが原因で地獄のデュエルを行い・そこで勝利を執着する・闇のデュエリストに変わった・・・原作通りなら問題ない・・・だがシ

ンが予想外にはやくサイバーダークを手に入れる際・亮とデュエルをしている・さらに悪いことにシンはカミコーラ戦のことを知っていた・丸藤翔が人質となり敗北するとほのめかしていた・・もし今丸藤亮がヘルカイザーになろうとしているなら・原因是シンの優しさにある」パ

「そんな・・・あそこだ」ジ

「俺はサイバーツインドラゴンでサイバーラーバアを攻撃」亮

「トライツプ発動・サイバーサモンブラスター・これでお前に600ダメージだ」シ

「無駄だ・レインボーライフ・これにより俺に対するダメージは全て回復になる・再びサイバーツインドラゴンでサイバーラーバアを攻撃」亮

LP 40000 + 600 = 46000

「再びサイバーラーバアを特殊召喚・これで」シ

「甘い・融合解除・サイバーツインドラゴンを融合トリッキに戻して・墓地のサイバードラゴンを特殊召喚・サイバードラゴンでサイバーラーバアを攻撃・さらにサイバードラゴンでダイレクトアタック」亮

LP 40000 - 2100 = 1900

「リバースカードを一枚伏せてターンエンドだ・・・どうだ・・・これが俺の本気だ」亮

「やはりな・・・お前は貪欲に勝利を求めていない・・・渴きを満たそうとしているな」シ

「どうゆうことだ」パラドックス＆ジロウ

「お前はかつての俺のように理由は違つが・渴きがある・・憧れていた俺に本氣で勝とうとする・本氣で越えようとしている・そういうのか？」シ

「確かに・・・だが今この状況をどうやってひっくり返す？」亮

「行くぜ見せてやるよ・兄弟子が得意とする・カオスの力を・俺のターンドロー・手札から苦渋の選択を発動・俺はデッキより・ライトロードのケルビムとジョンとライトロードベースストウォルフを一枚とライラを選択」シ

「ウォルフはデッキから墓地から捨てられた時特殊召喚されるため・ウォルフを選択」亮

「正解だ・いでよウォルフ一枚・さらには天使の施しで三枚引いて一枚捨てる・さらに・ジャッジメントドラグーンを特殊召喚して一掃・さらに墓地のバイスドライラゴンとウォルフを除外・いでよ開闢の使者・一体でどめだ」シ

L P 4 6 0 0 - 6 0 0 0 = - 1 4 0 0

「どうだ・・・これが親父から受け継いだカオスを俺流に改造した・ライトロードカオスだ」シ

「やつぱつあなたはすごいです・・わざわざお時間いただきありがとうございました」亮

その次の日

「決戦融合ファイナルフュージョン発動」十

十代&亮 L P 0

「任せたぞ・在校生」亮

「ああ任せろ・卒業生」十

「うして亮はプロリーグに向かって歩きだしたのだった

勝利への渴望？（後書き）

「ところでなんで昨日ジロウさんとパラドックスさんは俺を追つたんですか？」シ

「…………パラドックス～」ジ

「まさか……亮がヘルカイザーになると勘違いして……」シ

「今回ばかりはスマン」パラドックス・全力疾走

「余計な心配をせといて・ふざけんな」ジロウ&シン

この壮絶な鬼バトルは次の日の朝まで続き・最終的にパラドックスさんは俺の部屋に吊されていた

第一章

G X・三幻魔編

完結

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4008v/>

遊戯王GX・栄光と引き換えの転生

2011年11月24日21時53分発行